より南部氏の宅よりおのて見ゆ。則ち自ら感服して受戒し。日宗此あり。寺もまた規模を改ため。高祖經塔を造てこれを寄玉ふ。又戸田村より密寺あり。長遠といふ。あるじを大心阿闍梨といふ。高祖より帰し門人となる。日心これあり。

○弘安元戊寅年（御年五十七）正月十六日駿州實相寺の僧某書を呈し。回書あり。二月内房の老婆。神祠より賽よりて輙来り謁せんと請ふ。高祖辞して逢玉はず。神佛の序を失まるを以てあり。

三月三日駿州の三澤某果菜を供し併せて書を奉じて。文永辛未佐州より謫せらるるよりの其教化前時の説と異ある事あるを疑問し。十九日。堂上特小講筵をひらき。是より日々懈らず。あるひは堂西の巨石より趺坐して。これをつとめ玉ふ。門人書を呈して。他と法義を論ずる事を告ぐ。廿一日報書あり。此月近村吏氏の妻難産運慶の作そこと手あしのいとをもとひ玉ふ。定家やーきの持佛堂よりりいぐ世釈尊まき聖德太子の御作の釈尊ホヨ大宮数おわしーの。さてーの時節はいまよくよろし

同末村安養寺

○旧村雲御所開山日秀

尊儀のおんすがたを此寺へ勿論一村のこゝろざし改宗を初へ浄土宗なり

○久遠薬師如来八幡の川勝の守本尊なり

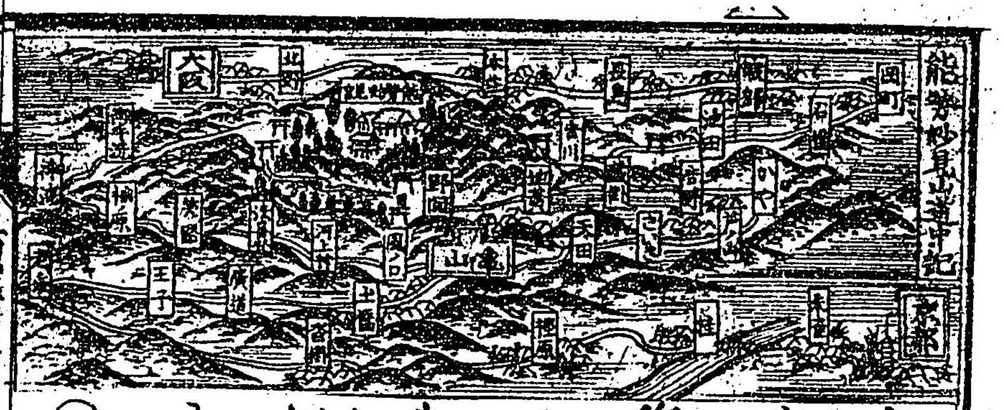
同末 本瑞寺 同

○此寺すべて浄土宗なり旧村雲御所の開山暴秀尊儀のおんすがたを改宗せり

京都順覧終

危事甚し。高祖禱有て安産に母子ともに恙なし。家挙て大に悦で宗を改む。五月九日書をつくり。兼て諸檀よたまふ。以て護法の志を称せ。

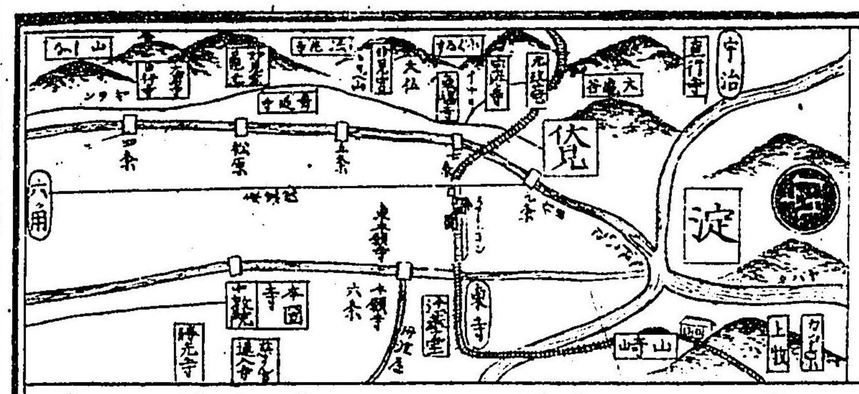
廿四日七郎の妻米苞を供に去歳より諸州大疫に富木氏の族もまゝ病む。書を奉じて是を告ぐ。六月廿六日回書して諭し。以て信力を勧む。七月廿七日遠藤信士来り訪ふ。此月建長寺の道隆死して霊異あり。北條氏これを疑つて



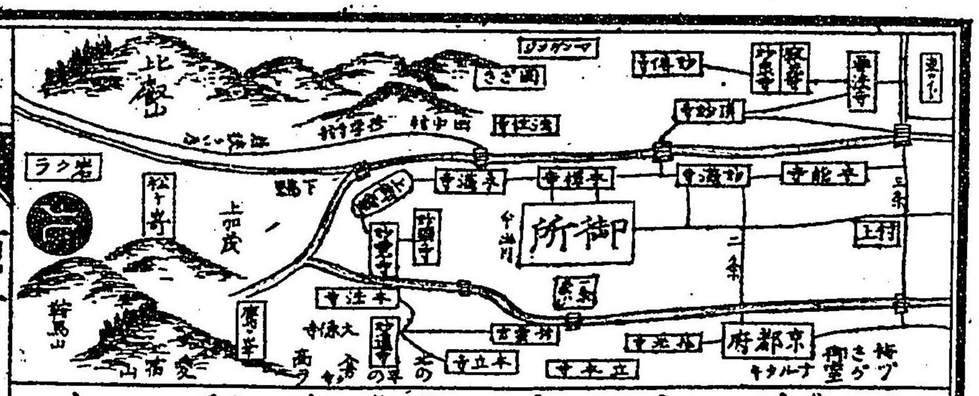
高祖に告ぐ。八月十一日致書して疑を折く。九月六日州の妙法尼書を奉じて其兄某の訃あり。復書してこれを弔ひ。かつて其長嫂暑服と供するを謝に。廿日本尊問答ある。手書の本尊とありせて。浄顕に贈り玉ふ。廿四日太田氏の妻供を献に。このとき曼荼羅を書して。日向。日持に授玉ふ。

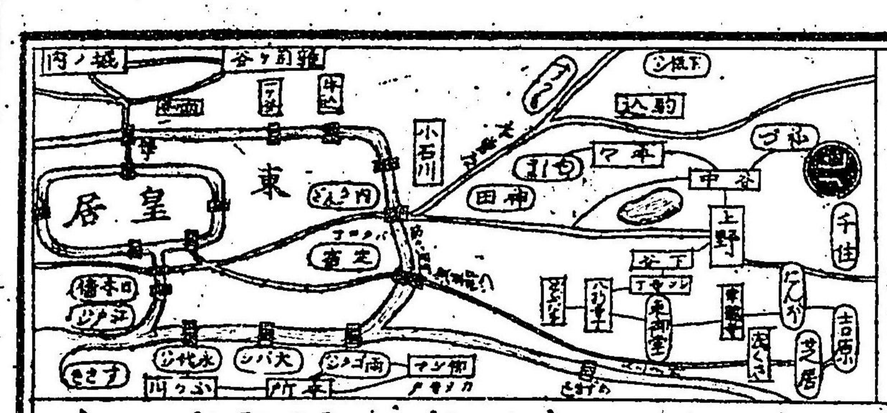
○弘安二己卯年（御年五十八）二月富木氏の妻病ひ

京都霊場略図

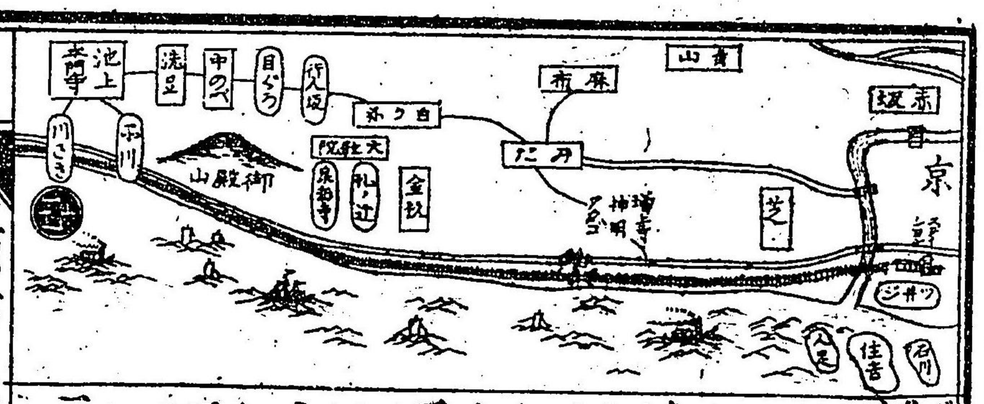


あり。書を以て慰問ひ玉ふ。三月廿六日松野氏の妻供を献じ。四月八日本尊を日朗に授玉ふ。廿日書を南條某に与へ玉ふ。五月二日遠州新池新池の左の前と称せ米三石を供じ。亡子のため追善を請ふ。七月十六日大曼荼羅三幅を書して常日。乗日に与へ玉ふ。遠藤信士この年三月没じ。其子藤九郎守綱来て。山中に塔せるによつて。高祖更に冥福をもとめ。つて曩時護法の労


御所
京都府
上村
寺法本
寺立本
寺本立
寺本能
寺本横
寺本遠
寺本法
寺本立
寺本光

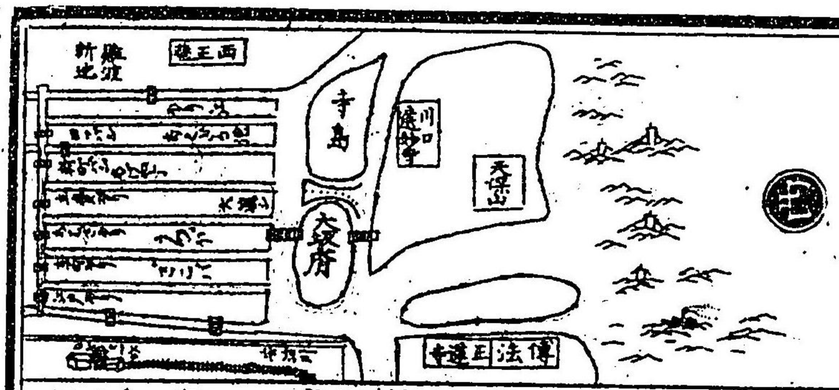


てこれを与へ玉ふ。十月朔日。末法弘化の大事を書して。以て門人に示し玉ふ。二日駿州の妙心尼供あり。十二日弥四郎等の請に應じ。本尊を版に書し玉ふ。廿三日四條氏に復書して以て其讎あるを難をまぬかるゝ事を賀せらる。此月諸佛總勘文を著し玉ふ。日奥冨に師命を奉じて駿州賀島に行化し。賀島は富士郡にあり宗を改るもの多し。實相寺嚴譽等。妒忌て遂に公邉に



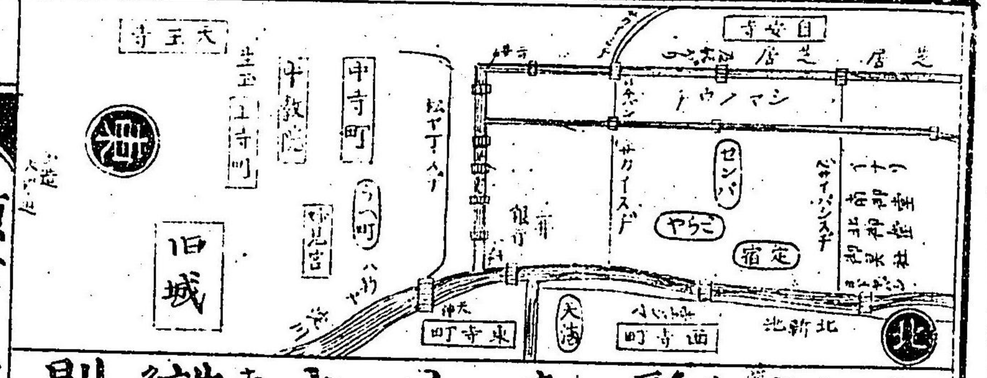
譖し役人を〻して。其徒廿四人を捕ふ。是を鎌倉に おくり。以て地牢に下し。高祖致書して是を諭す。十一月六日書を治部房に与へ玉ふ。治部房は諱は日位少輔阿闍梨と称す 晦日。中奥某其子の十三回の諱辰に値ふ。一膳を供して薦拔を請ふ。此月豆州江川吉久。江川吉久太郎左衛門と称す韮山に居す 曼荼羅を授らる。其四天の像は。則ち亜工大藏図する所なり。十二月三日 宗仲諸物を供す。此年 御弟子のうちに

大阪霊場略図

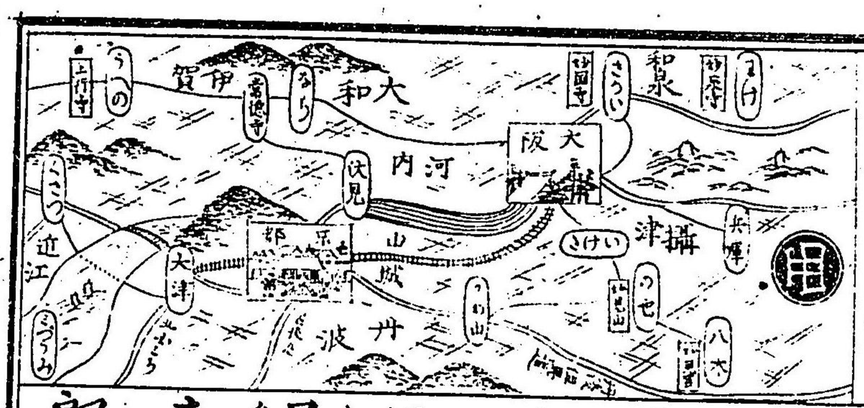


嬾惰ふして。出家を厭ひ。まさよ束髪せんとする者あり。高祖竊に聞て書をあゝへ。是を誡め玉ふ。門人日法彫刻に工あり。日法和泉の阿闍梨と称し中老の一人霊瑞を感じて。良材を得。則ち高祖の像を刻みて。以て後世に貽さん事を請ふ。高祖これをゆるし。像遂に成る。高祖自ら點眼し玉ふ

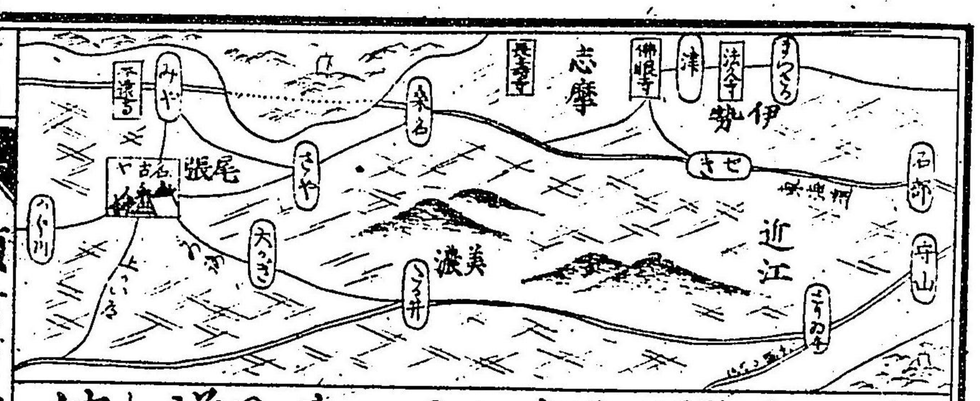
○同三庚辰年（御年五十九）吏氏の妻。児を携へ来る。則ち母子ともに祝髪せん事を請ふ。其夫已に



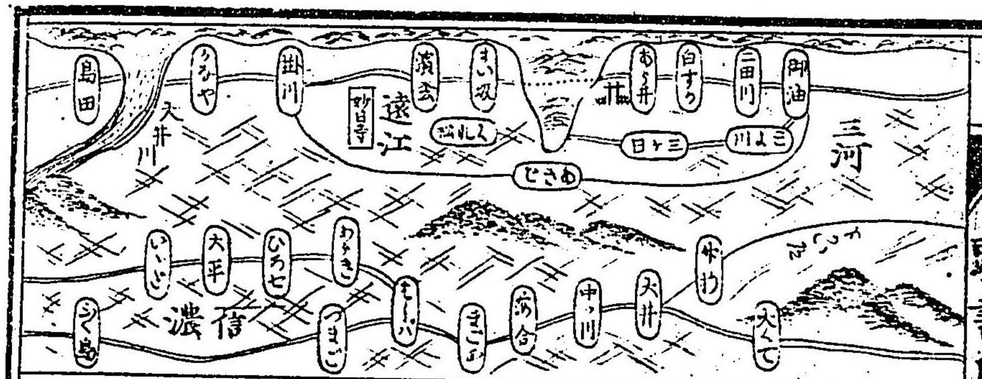
没せるゞ為あり。これをゆるして。母を度して法名を日佛といふ。児を是好麻呂と名づく。後祝髪して日孝といふ。三月三日駿州日住信士書を奉じて。祖父のため冥福を請ふ。復書して玉ふ。此月中臣某受戒に。官嚴誉等ゞ説熟を聽。すゝいち命じて地牢に囚る。頭立者三人を誅戮す。熱原甚四郎田中廣野弥兵衛高祖これがために作福を。則ち其徒を諭して曰く。此人仙豫の化に遇ず



して。反て讒人のためよ極樂ふいくるなり。惜べきといへども未来永劫其福唐捐せさる事。皆因縁あり。これ信士輩の庶幾べき所ふり。五月廿六日。諸乗と法花との難易と書して。富木氏ふ示し玉ふ。此月蒙古来寇せん事と議せ前よ屢来書と報ぜばして。杜世忠等と誅戮せる故ふり。六月廿七日持妙尼供あり。七月朔日藤九郎来り訪ふ。妙一女。即身成佛の法門を問ふ。十



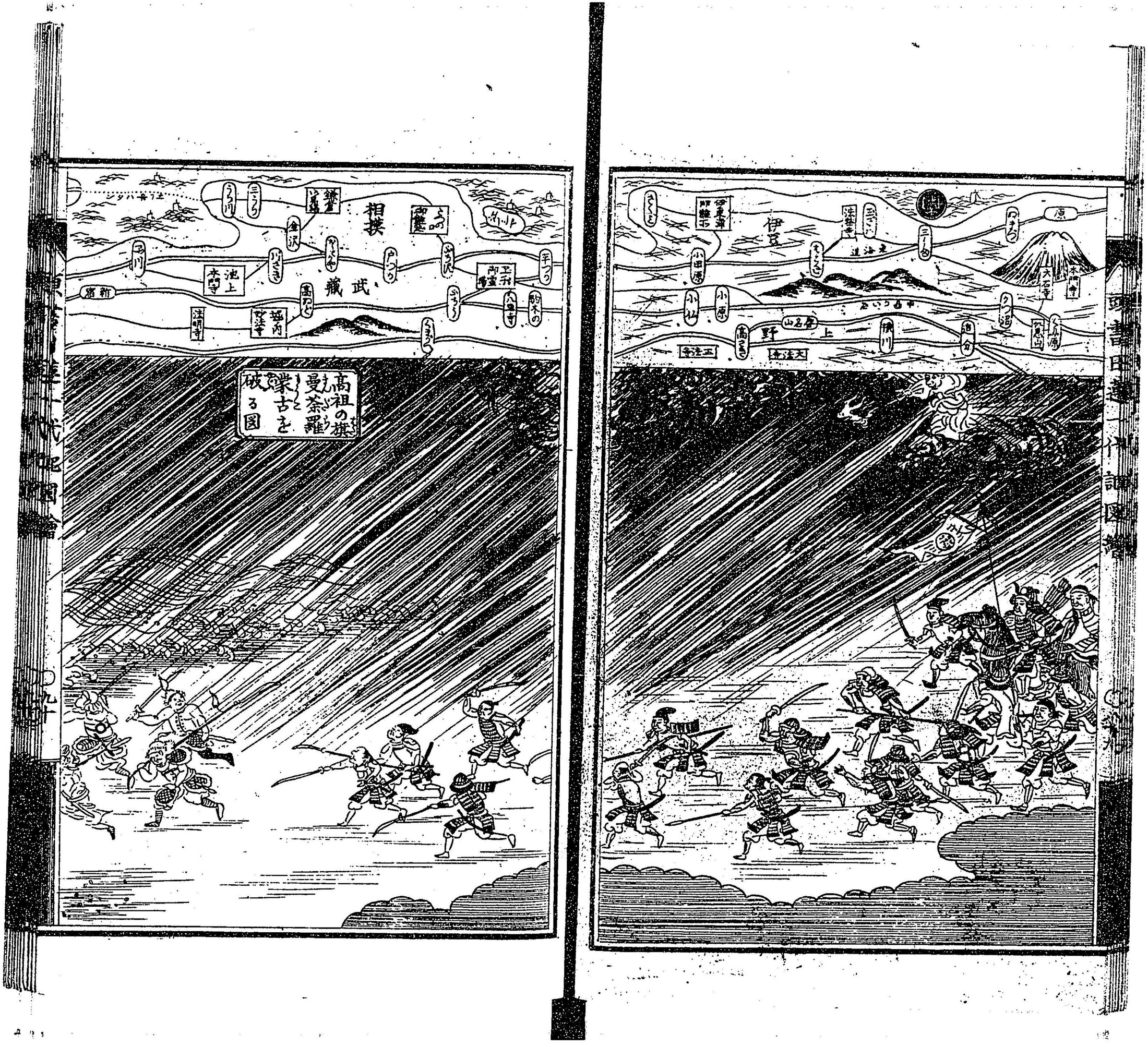
四日咎書あり。八月十四日内房中臣某の女十緡を供せ。併せて書と奉じ。以て父の没後。正當一百日のため。善業と請ふ。此月蒙古大よ四方よ命じて。日本と伐の軍勢と集る。九月六日書をもつて。南條氏妻子息五郎を亡ふと弔ひたまふ。九日書を兵衛よあゝ玉ふ。兄弟父と諫め。遂よ宗教よ帰せるを嘉し。十月廿日尾州の一信女。廿緡を供せ。併て書と呈す。以て毎十三回

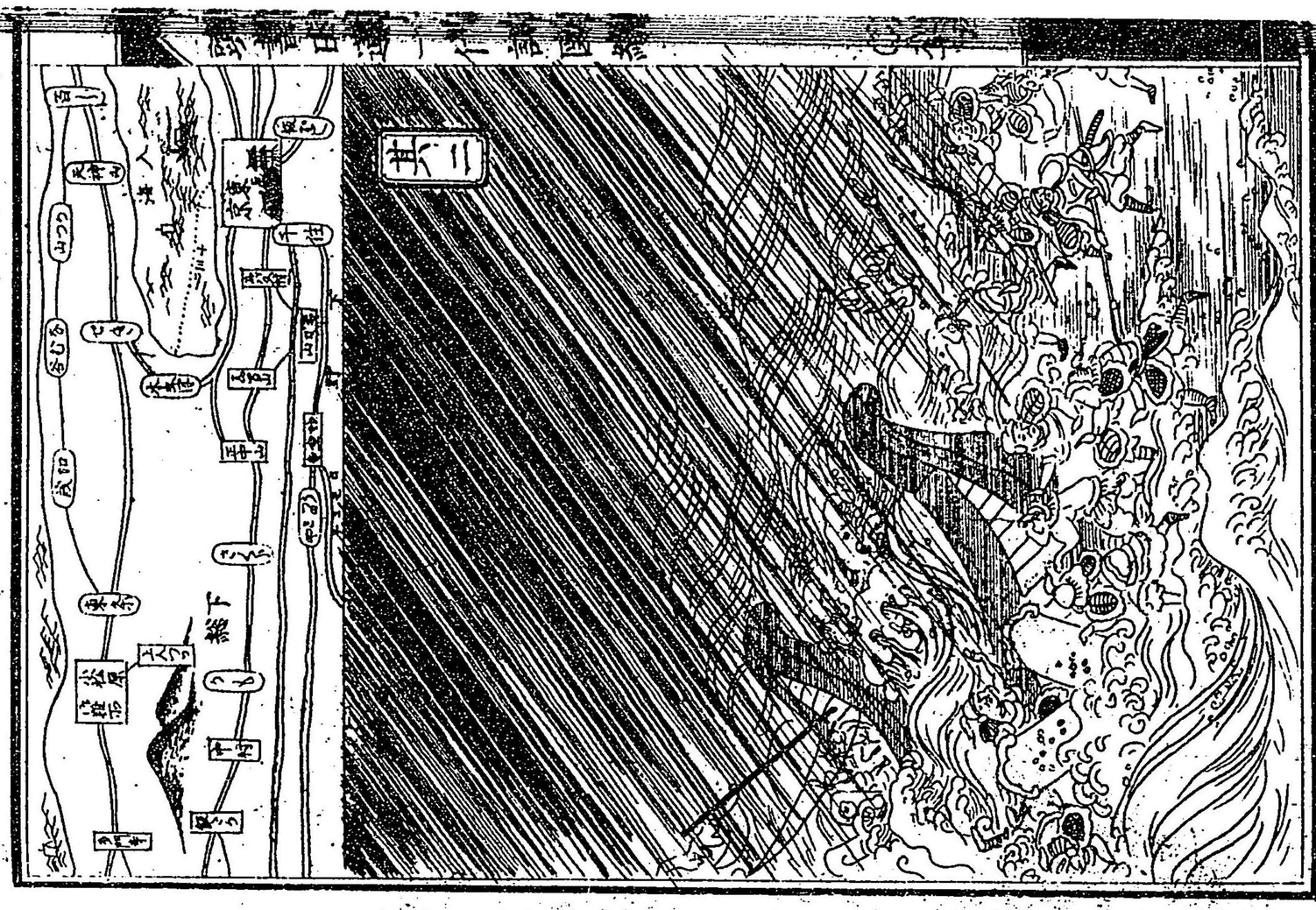


忌のため。勝業を請ふ。十一月三日十八圓満の妙吉と書して。最蓮に示す。玉ふ。書副を。廿一日紙廿八張に接て。本尊を書して。以て渡辺藤太夫に与へ玉ふ。藤太夫は甲州都留郡小立村の人。子孫今に繁昌に

廿九日駿州の日嚴尼供を献じ祈禱を請ふ。十二月八幡鈔を著わし玉ふ。日持法花問答を撰び。高祖聞して曰く。吾筆硯を労すといふとも。之に加ふる事か則ち以て自撰に属し。後迂滅無常の事を記もまた印定して自撰とし。時宗蒙古の兵来らんとすると聞て。筑前の古城を修し。兵十万をおき以て之を備ふ。又山東の諸将をして。帝都を守らしむ。

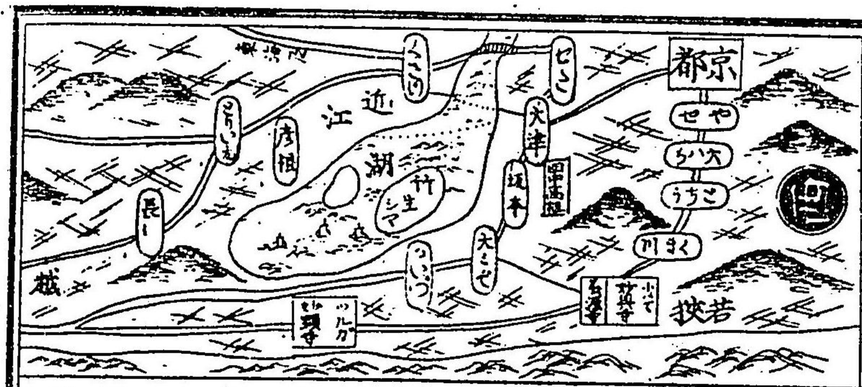
○同四辛巳年（御年六十）正月蒙古また右丞相阿剌罕左丞相范文虎及び忻都。洪茶丘に命じて。いわく。兵十万を将として。以て日本を征せよ。といふ。二月東寺の真廣来り訪ふ相見せざる


相模
武蔵
伊豆
東海道
高祖の旗
曼荼羅
蝶古を
破る図


下総
上総

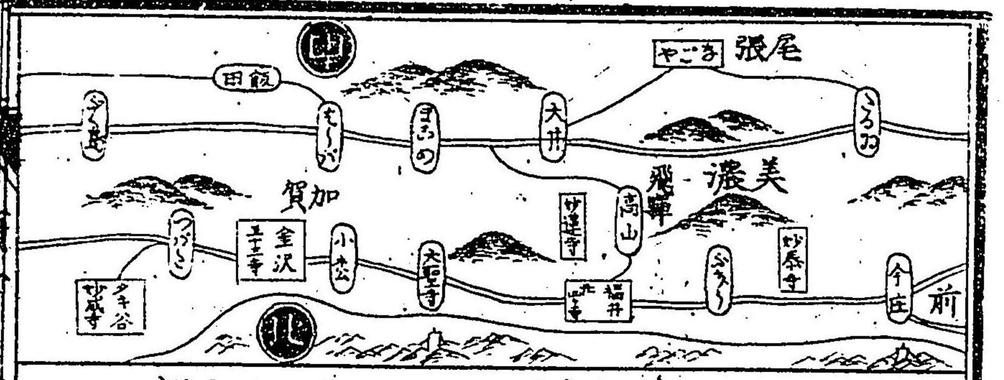
陸奥

北國路靈場略図



○両面之大旗來記　日之丸東京最敬寺　月之丸身延久遠寺　什寶

弘安四年辛巳五月二十一日。從大元國蒙古賊船四千餘艘。人數二十四萬餘。責來。七月於九州。防戰其時。這八大龍王之御旗。圓中日蓮聖人為祈禱之。大曼荼羅令書。此御旗先立。向親王九州給時。某為武之大將。至九州。則日本之靈神擁護。有神風吹彼賊船。其人數等不殘破。異國追拂給。目出度旗成故。我家是預給畢



十二月二十一日　宇津宮貞綱　判

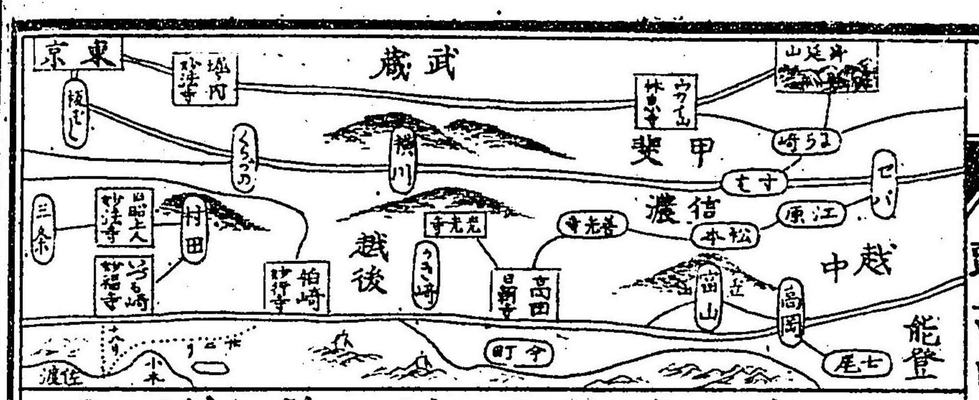
這両面之大旗者

惟康親王所持之御旗也。弘安四年五月二十一日。

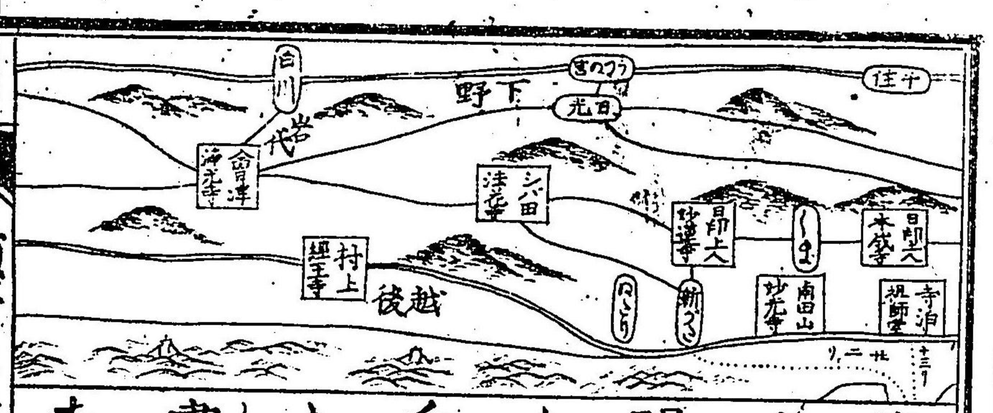
從大元國蒙古。來船四千艘。人數二十四萬人也。

于時　親王此旗。四方八大龍王。四角四天王。中圓相内。十界大曼荼羅。日蓮聖人仰而令書是。為持九州向穰蒙古災給。御旗是也

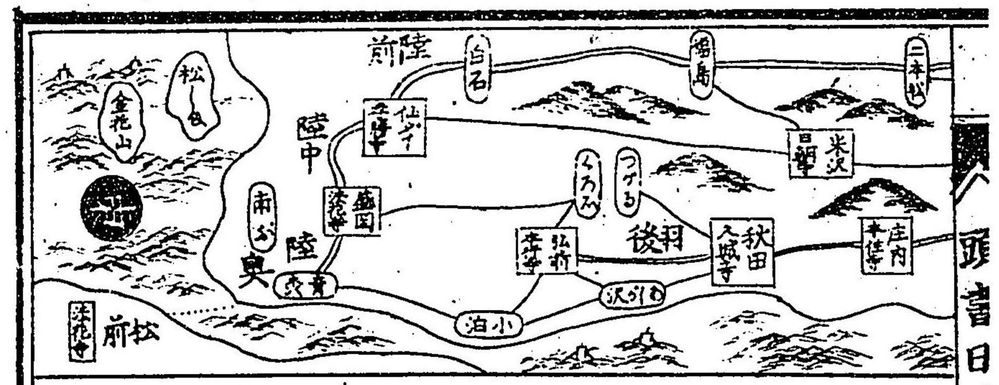
正應元年十月十三日　武州池上村　右衛門大夫宗仲　判



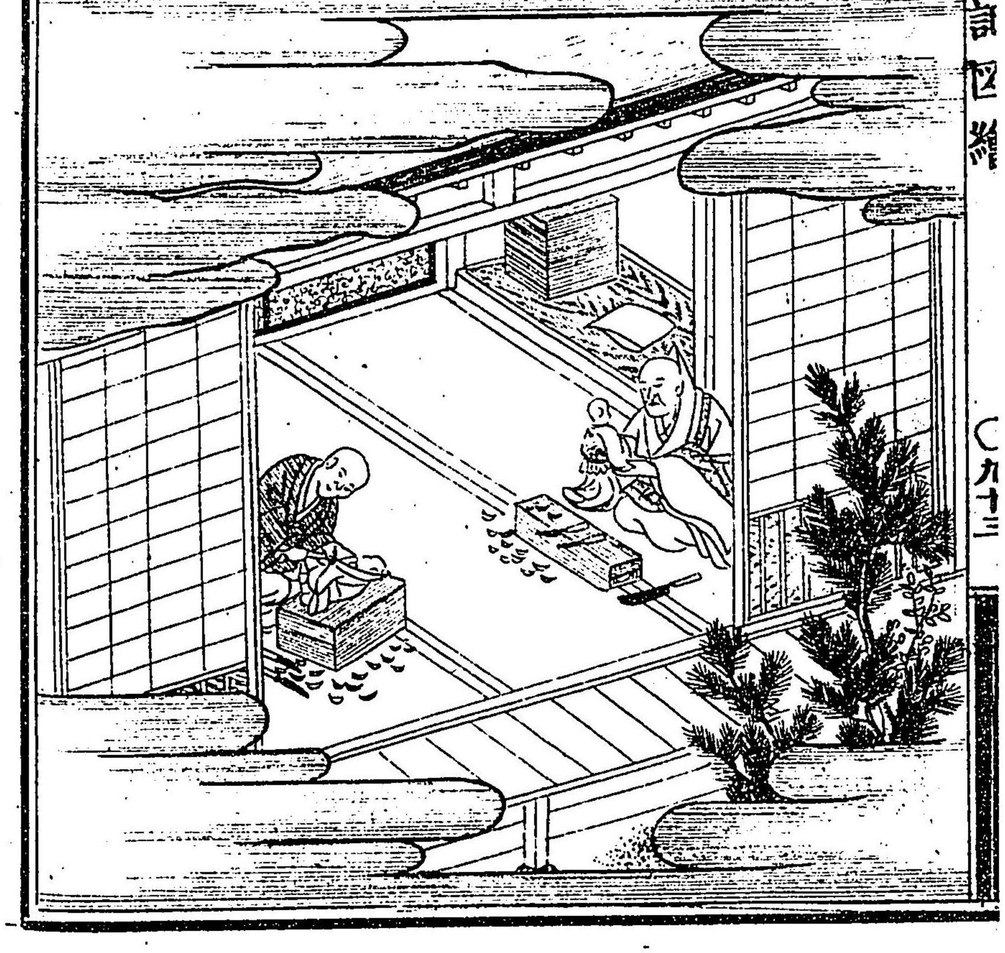
事廿餘年。忻然として故をを語る。ずつていま宗教を聞て受戒ス。三月日進疑問を筆して是を呈ス。廿一日巻書あり。四月八日三大秘法の揖概を書して。太田氏よ示して玉ふ。五月蒙古の艨艟三千艘数々海西よ寇して西海の諸将兵を進めカ戰ととゝへども。終よ支る事能はず。凡て九州の人阿波。讃岐。伊豫。土佐と中州とゝ走る。天下戰慄せざる事なし。文永甲戌蒙古の兵来て。



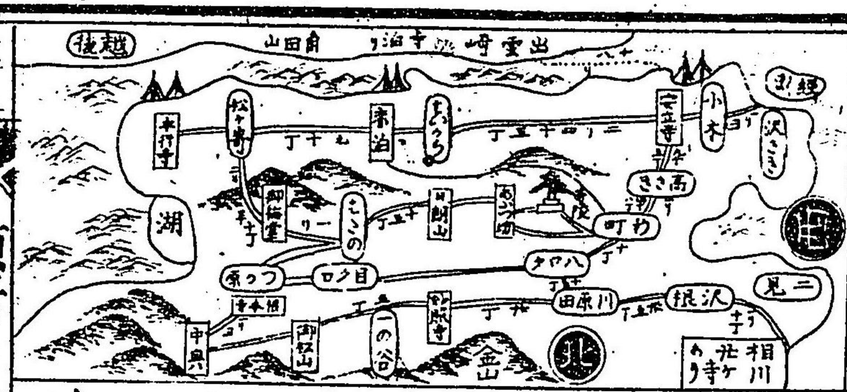
後高祖屢言ふい異賊まゝ来らんと。此語いよくたがはざる事。符節を合せたるゞ如し。時よ門人を警誡する者あり。六月十六日書して示給ふ。九月十一日南條某。供を献ず。この月南部氏よ往て祈禱あり。南部氏こつかゝ其事を記以ておさむ。十月富木氏。四緡を供ス。おいせて書を奉ス。告るに西國災あり。密徒祈禱する事をきゝてス。身延山幽邃ありといへど。四方歡び



高祖常忍と互に影像を彫刻し給ふ図

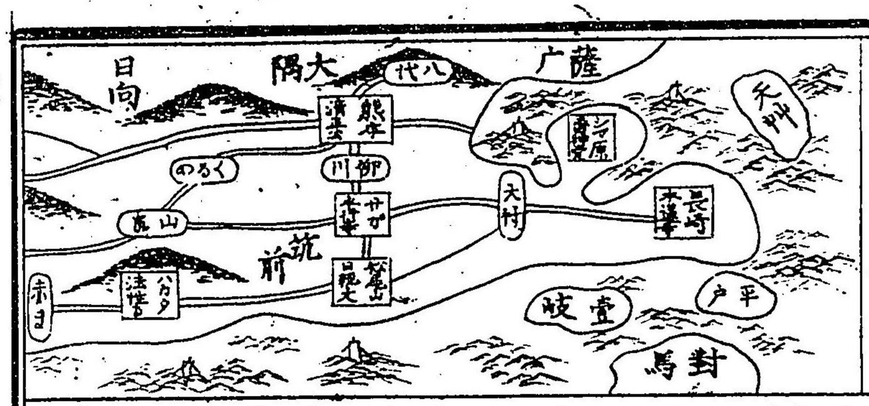


佐渡國霊場略図



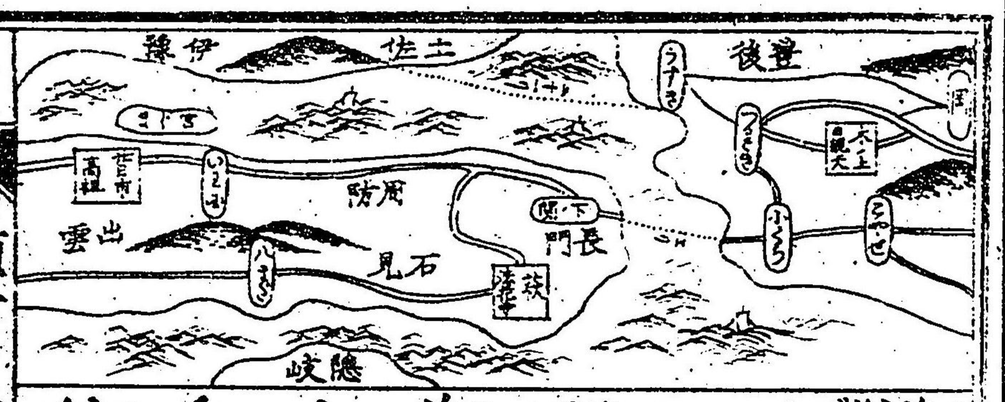
慕ふて来る者雲の如くあつまる。其室狭くして衆を容る事あたはず。又別に一堂をかまへ。縦横六丈号して身延山久遠寺とゝ。十一月廿四日天台會をもつて開堂に遠近ことぐく會に。高祖嘗ていふ。吾若上行ゝ。常忍い無違行あるべし。此年則ちこゝから常忍の像を刻て。以て傍おやとんに。常忍まゝ親侍せざる事を嘆じて。手つから高祖の像を刻こ終身是を奉に。

西國筋霊場略図



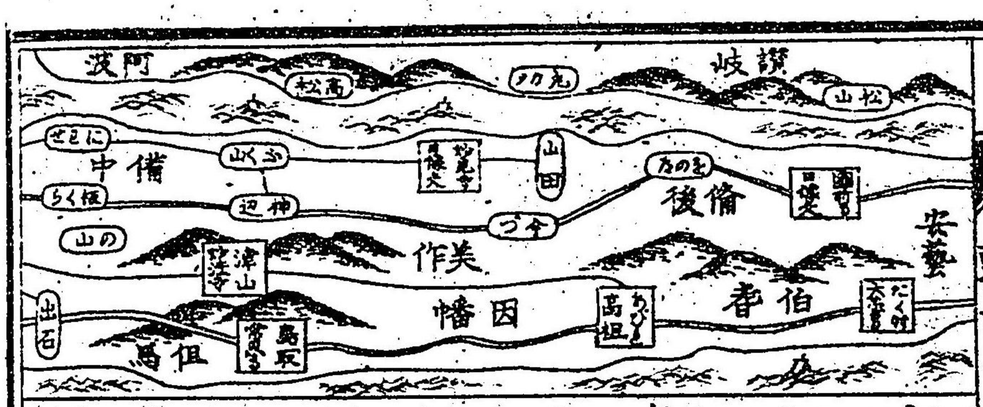
高祖本門戒體を著わし玉ふ。安清の妻。供物を献じ。

○弘安五壬午年（御年六十一）正月廿九日祈禱經の口訣を記し玉ふ。六人に示し玉ふ。四月手ずから宝塔會を図し玉ふ。高祖素より書重ゑ委しふして。尤書ゑ工こゝあり。臨池を事とせばといへども。其天然の妙能書家者流をして。賞嘆して筆を措むこの秋風を患ひ玉ふ。諸徒来り會して。省

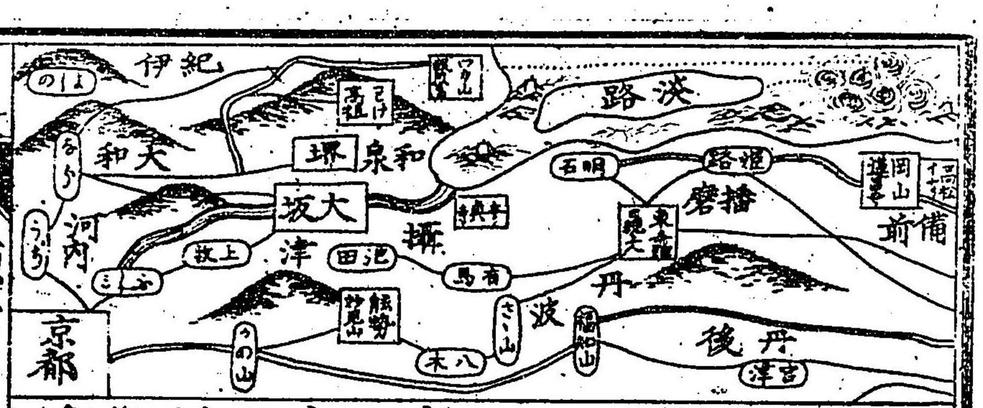


護し。九月徒ゑ告て曰く吾思ふ所あり。武州池上ゑ往ん。南部氏良馬を送る。長男某弥六郎長義と称し

をして是ゑ従しむ。八日御供駕あり。投宿する所い。其日下山の四郎。九日ゑ大井の庄司。十日曽根の次郎。十一日黒駒の某。十二日河口の上房。十三日呉地の遠山氏。十四日駿州の竹下鈴木氏。十五日相州関本下田氏。十六日平塚の驛長谷川氏。十七日瀬谷の精舎。十八日午時池上の



宗仲屋敷ょ至り玉ふ。十九日南部氏ょ謝せんがため書を裁〜。其長男ょ附ル。其略ふいてく。山河の險令郎能我を扶馬もまとよく乗て幸ょ〜れ至ることを得たり。筆紙ょ謝する所をまゝ〜病瘳バ帰錫せん。然れども老病期〜難〜。設何地ょ死すとも。塚どバ身延山ょ封ずべ〜。廿五日安國論を講ゞ玉ふ。講ゞ畢て衆ょ告て言く。三七日の中吾化せんとゝ。地震



せバ。これ其時あり。まゝ日朗ょ語て曰く。吾死せバ尸を身延山ょ送れ。日朗いてく。在世ょ猶聞提の怨嫉あり。況や滅後をや。長途豈虞おからんゃ。ゃゝ閣維〜て。御遺骨を送らんょ。高祖曰く善〜。十月三日親り本迹大要を書〜。立像佛。安國論。官牒二本を併せ。ゃって日朗ふ授與〜玉ふ。八日上足六人を定め玉ひ。日與ょ命ゞてこれを書〜む。日昭。日朗。日與。日向。日頂。

祖書内外拔萃

○波木井殿御書

釈迦佛ハ天竺霊山に居して八ヶ年法華経を説ゐふ御入滅ハ昊山より艮よ當る東天竺倶尸那國跋提河の西純陀ゥ家ょ居して御入滅ゐ

高祖上足六人を定め御遺言の図

かども八ヶ年法華経を説せゐふ山なれば其御墓を昊山ょ建させたまひきされば日蓮もかくのごとく身延山より艮よ當て武蔵國池上右衛門太夫宗仲ゥ家ょて死せべくいたとも日持おれあり。人これを六老僧といふ是ょ則ち遺言して曰く。汝六子。吾門の上首たり。折伏の軌則を護して身命を惜むべかゝゝ且衆ょ命じて曰く吾没後六子を見る事。猶吾を見ゞがごとくせよ。十日註法花経を日昭ょ付し。又肉牙二枚を賜ふて曰く。これ吾ゥ説経の功徳を具し。汝能藏ょ。十一日経一麻呂ょ命じて曰く。汝蛍く祝髪し。解行兼備し。以て帝都乃弘通ょ事へよ

いづくゝて死しんと
いふとも九ケ年の間
心安く法華經を
讀誦し奉りし山
あれば墓とゝ身延
山は立させよゝ
未来際までも心ハ
身延山に住べくし
日蓮ハ日本六十六
ケ國島二つの内五

高祖經一磨ゝ帝都弘通を遺托し給ふ図

尺も足らざる身を
ひとつ置処あくし
ひしを波木井殿の
御育くみにて九ケ
年の間身延山にて
心安く法華經を
読誦し奉りしひ
ける志をハ何ある
よ世にハ思ひ忘る
べくしんや日蓮ハ
弘通いまさふ来惜身命と以てすべし。汝それ
勗よ。十二日諸子間訊ハ。高祖曰く臨終甚だ近し。遺訓諄々然たり。既にして侍者をして。大
曼荼羅を懸しめ。焚香散花持誦愈つとむ。十三日
黎明地震ふ。諸子皆來り會ハ。高祖頭北面西。右
脇下ゝして臥し。衆と倶に方便品を誦ハ。入佛
知見道故の句に至て。或ハいとく壽量品の半に至るとゝふ睡るが如
く寂し。玉ふ。世壽六十一。法臘四十六。葬儀礼に

日本第一の法花經の行者なり日蓮が弟子檀那等の中に日蓮より後に来りて梵天帝釈四大天王閻魔法王の御まへにて日本第一の法花經の行者日蓮房が弟子檀那なりと名乗て

高祖御入滅の図

通りまゐべし此法華經は三途河にて舟とまり死出の山にては大白牛車冥途にては燈とり灵山へ参る橋灵山へまゐりて艮の廊にて尋ねかゝるべし待たてまつるべし但し

各の信心に依べくは信心だに弱くばいろに日蓮が弟子祖那と名乗せるふともよも御用ひいひじそろに二つまくて信心よらくはたを峯の石の谷へおろび空の雨の大地へ落るとおぼしめせ

大阿鼻地獄は疑ひあるべくば其時日蓮をば恨みさせ給ふ返々も各の信心に依るべくは大通法縁の者は地獄に墮て三千塵點劫を經ひき久遠下種の輩は地獄に墮て五百

遵ふ。山中に閣維し。林樹変衰して。人をして鶴林の想ひあらしむ。十六日に遺骨を取おさめ。瓶に藏む。壇に奠して。一七日畢て。これを身延山に送る。廿一日諸子啓行し。廿五日身延山に至り。日法往年刻むところの。影像をもつて。堂に安置したてまつる

高祖御葬儀行粧大畧之圖

塵點劫を經たる
事大悪智識よあ
ふて法華經をお
ろかに信ぜ故に
かくもぐも能々信
心ひて異ある故に
くぐ昊山へまゐく
て日蓮とゝづひ
たまへ其時くゞく
ゞくゝ南無妙

法蓮華經
弘安五年壬午十月七日
日蓮在判
波木井殿
其外人々御中
○松葉谷燒討御妙判
下山鈔 文永六年 曰く日
蓮が小菴小数十人
押寄て殺害せん
とせしかども如何

其三

まことうけん其夜の害を脱ぬまられども心を合しなることあれば寄たるあり失あり大夏の改道を破る日蓮いまだ生たるか不思議なりとて伊豆の國へ流しぬ

伊豆御流罪御判

一谷入道書内抜立二十六曰

御勘氣を蒙て伊豆國伊東郷といふ所に流罪せらるきたりき兵衛佐頼朝の流されあり所ありまられども程なく同三年癸亥二月小名一返されぬ文

舩守弥三郎書外十三十九

曰く今末法は舩守の弥三郎と生れり

とて日蓮を憐ミ玉ふたとひ男ハさもあるべきに女房の身として食をわとゝ洗足て〳〵つ其外さもこそ感ずること日蓮

○御遺物配分の事

註法華經一部十卷　辨阿闍梨

御本尊一体　立像釈迦　大國阿闍梨

御馬一匹小袖一　佐渡

御太刀一小袖一袈裟代五貫文　侍従智満丸

衣一小袖一　越前福満丸

御馬一匹頭冒子鞍皆具御足袋　白蓮房阿闍梨

御腹巻銭貳貫文　伊豫

考ゝ不思議ゝ

申計なん文

○房州東條御法難問

南條御書内九十五　曰く

安房國東條の松原と申大道にて申酉の時なりに数百人の念佛者ゝ待うけられて日蓮ハ但人十人ばかりにて

御馬一匹小袖一御念珠一連　筑前

小袖　治部　小袖一頭冒子　攝津

御馬一匹小袖　大夫　小袖一　丹波

御馬一匹小袖一　大夫　小袖一御衣一　和泉

銭貳貫文　伊賀　同　淡路

同壹貫文　寂日　同貳貫文　信濃

同壹貫文　出羽　同　輔

同　下野　同　讃岐

もの用に値するものハ僅ふ三四人ゟ射る箭ハ降雨のごとく打太刀ハ電のごと弟子一人ハ當座ふ打殺さる二人ハ大支の手ひて候自身ハ切れ打ち結句ハ命ょ及たりしゞ候けむ打

同貳貫文　妙德
同壱貫文馬一疋漆物一鞍皆具　富田四郎太郎
錢壱貫文　頂内三郎　同貳貫文　椎路四郎
小袖一　四郎次郎　同　瀧王
御絹　安房國新矢入道　小袖一　同國淨顕
同　同國藤平

○弘安六癸未年正月別ょ堂を營ミ遺骨を安ん門人輪番ょこれを守る

もしきれて今まで生て侍りいよ〳〵法華經の信心こそまさりてひへ文

○相州竜の口御難間

龍口御難鈔内大三四十四

曰く去る文永八年九月十二日御勘氣を蒙る乃日蓮貧道の身とうまれて

正月　辨阿闍梨　二月　大國阿闍梨　三月　越前淡路
四月　伊豫　五月　蓮花阿闍梨　六月　越後下野
七月　伊賀筑前　八月　和泉治部　九月　白蓮阿闍梨
十月　但馬郷公　十一月　佐渡　十二月　丹波寂日

高祖嘗て曰く。吾遺骨まさに靈あるべ——。其國人のため敬ょ所する事かたゝしゞ八幡の如くならん滅後七十年　文和天皇吉あり。果して大菩薩號を賜ふとゝ

父母の孝養心よ
たらば國恩を報
ぜんと力をー 今
度頸を法華經よ
奉て其功德を父
母よ回向せん其餘
をば弟子檀那等
よたくぶーと
申せーこと是ふ
うと文

高祖御詠哥三首

如風於空中一切無障礙の意を

たちもとゝる身のうれ雲も晴ぬべし。

多くえのみ乃ゝもの。鷲の山かな。

悪鬼入其身罵詈毀辱我の意を

おのつゝ。邪ふる。雨いあゝし。

うぢなのこゝを夜の。窓をうゝ免ん。

終不以小乘濟度於衆生の意を

又曰く江の嶋の方
より月のごとくなる
光りの鞠のゆふて
辰巳の方より戌
亥の方へ光とる
十二日の夜のほけ
方ふ人の面も見へ
ざりしゝ物の光り
月夜のゆふて人
の面も皆見ゆ兵

あしのゆふの形いふゆよ似たれども
難波ゆ人を得こゝゝ法華
宸翰并綸旨ゆ寫

多世わ乃身乃
うゝ雲も晴ぬ
屋

日蓮大菩薩

さゝぬ法法華
わゝゝゝ山
この勢

共をぢ怖れて一町ばかり馳まのさ或ハ馬より下りて畏る或ハ馬の上にてうずくまる者もあり日蓮申やう何よ殿原ハかゝる大禍ある召人をば遠くのくぞ近く打寄やくと高だかと喚れば或ハ急ぎ寄人もあり又

○佐渡左遷同佐渡御勘氣抄内出

曰く同十月十日に依智を立て同十月廿八日より佐渡の國へ著ぬ十一月一日ハ六郎左衛門が家のうしろ塚原と藏中如今現存焉

慶長十八癸丑年十二月　日二十二代心性日遠奉之

日蓮大菩薩

右

人皇百十二代霊元天皇之　宸翰也

副書曰

日蓮大菩薩

太上法皇御宸翰無疑者也有故今般奉納乎身

本朝人皇九十九代北朝四代あり　後後光嚴天皇勅筆寫

文和元年六月廿五日大覺大僧正雨祈時長州萩松原山法花寺霊寶

南無妙法蓮華經

右七字

人皇百七代後陽成天皇為紀常両候萱堂粮珠夫人親淡宸翰賜之夫人有命置身延山

申て山野の中に洛陽の蓮臺野のやうに死人を捨る所に一間四面なる堂の佛もなく上はふうばに四壁はいらいはつて雪ふり積て消るもとなく所に鋪皮をき蓑うちきて

延山可謂一宗之本意顯然矣昔時大菩薩歸雖有勅書不到於本山尓時享保五庚子年仲夏奉納之序為後鑑拜之畢是佛法韶隆宗門光輝永々可抽懇祈者也

五月廿一日　　都護前亞相藤花押

久遠寺住持日裕上人御房

夜をあかす日を くらせば夜は雷電ひまなし昼は日の光もさせばこそ心細かるべき住ゐあり彼李陵が胡國に入て巖嵐に責られ法道三藏の徽宗皇帝に責られまして面よかな

綸旨

身延山久遠寺者為日蓮法華一宗之大導師故著紫衣令參新國家安全如件

内宜施大乘經王之法威特奉寶祈延長者依天氣執達

元祿六年五月六日　　右中辨

妙法華院住持日脫上人御房

著紫衣令參

内宜奉祈寶祈延長者依

やきをさゝれて
江南ょ放まゝも
只今とおゞゆる
ゆゝゝまゝや文
○智者愚者題目を
唱ふ同異の事
四信五品鈔（内十六六十九）
曰く問その義を
ものらざる人唯南無
妙法蓮華經と唱

天氣執達如件

元祿十四年五月十九日　左中辨

身延山久遠寺
妙法華院住持日省上人御房

甲斐國身延山久遠寺為住持輩代々着紫衣令
參内宜奉祈國家安全　寶祚長久者
天氣如此悉之以狀
寶永三年四月五日　右大辨

解義の功德を具
るや否や答小兒
乳を含よその味を
知ざれども自然ふ
身を養ふ者婆ゞ
良藥誰ゝ
てこれを服する
水こゝろふけれども
火を消火心ふけ
まゝども物をやく

日亨上人御房
勅願寺身延山久遠寺住持職事被聞食訖
宜令參内奉祈國家安全　寶祚長久者
依天氣執達如件
享保三年四月廿三日　權右中辨

日裕上人御房
勅願寺身延山久遠寺住持職事被聞食訖
宜令參内奉祈國家安全　寶祚長久

豈覚わ〜ん龍樹天台こゝふ此意あり文

松野御書外八九日く

但〜聖人の唱さを

ゑ〜題目の功徳と

我等ゞ唱申題目

の功徳と何程の多

少ひべきやを〜更よ

勝劣わるべが〜ひ

その故い愚者の

者

天氣如此悉之以状

寛保三年後四月廿二日　右中辨

日潮上人御房

○御系圖之事

妙法華院日蓮大菩薩

六老　智恵第一　日昭聖人　辨阿闍梨法印元亨三癸亥年三月廿六日寂　武州玉沢經王山法華寺　此寺初相州濱土有為

六老　給仕第一　日朗聖人　大國阿闍梨法印元應二庚申正月廿日寂　武州池上長栄山本門寺　比企谷妙本寺平賀本寺

持たる金も智者

の持てる金も愚

者の燈せる火も

智者の燈せる火

も其差別あるを〜

但〜此經文よりも

き唱へばその差別

あるべくあり文

○五欲を捨て佛果を

願ふべきを支

六老　筆藝第一　日興聖人　白蓮阿闍梨法印元弘二壬申年一月七日寂　駿州多宝富士山大石寺　同北山本門寺

日目　郷公大石寺第二世

日尊　同三世　洛陽要法寺

六老　問答第一　日向聖人　佐渡阿闍梨法印正和三甲寅年九月三日寂　身延山久遠寺第二世　藻原妙光寺

六老　日頂聖人　伊豫阿闍梨不詳示寂初以出國日為忌日後記日與日可以八月十二日也下総州真間山弘法寺

六老　日持聖人　蓮華阿闍梨欲弘法於異域令渡唐也故不詳示寂今以朔日為忌日駿州松野貞松山蓮永寺

右之六箇寺世云關東六門徒是也

持法華問答抄 内十四

曰く三界無安猶如火宅は如来の教へ如幻如化は菩薩の詞

あり寂光の都あり

ぞべいづれも皆苦

なるべし本覚の栖

を離て何ぞ楽

なるべき願ハ現世

安穏後生善所の

妙法を持のみこそ

只今生の名聞後

世の弄引なるだ

けを須く心を一に

して南無妙法蓮

華経と我も唱へ他

をも勧んのこそ

今生人界の思出

なるべき南無妙

法蓮華経

- 日進 身延二世
  - 日善 同四世
    - 日臺 同五世
- 日院 同六世
  - 日叡 同七世
    - 日億 同八世
- 日學 同九世
  - 日延 同十世
    - 日朝 同十一世
- 日意 同十二世 妙傳寺
  - 日傳 同十三世
- 日胤 妙傳寺二世
- 中老 日家聖人 房州小湊 誕生寺
- 中老 日源聖人 駿州賀嶋 實相寺
- 中老 日辨聖人 総州鷲巣 鷲山寺
- 九老 本国寺第三世 日印聖人 越州大面 本成寺
- 九老 花洛京開基 日像聖人 具足山 妙顕寺
- 九老 日輪聖人 相州比企谷第三世

- 中老 日法聖人 駿州岡宮 光長寺
- 中老 日傳聖人 甲州小室 妙法寺
- 中老 日位聖人 駿州池田 本覚寺
- 中老 日秀聖人 総州黒田 妙福寺
- 中老 天目聖人 武州吉川 妙国寺
- 中老 日得聖人 佐州阿房房 妙宣寺
- 中老 日合聖人
- 中老 日賢聖人 駿州村松海上寺二世
- 九老 日典聖人 総州平賀 本土寺
- 九老 日澄聖人 尾州熱田 本遠寺
- 九老 日善聖人 相州比企谷 実成寺
- 九老 日行聖人 佐州日朗山 本光寺
- 九老 日範聖人 丹州福智山 常照寺
- 九老 朗慶聖人 相州藤嶋寺法性寺 貞和年中京都

松野殿書外八白く
平六
然よ在家の御身
ハ但餘念なく南
無妙法蓮華經と
御となへあつて
供養をそなふが肝心
そひありそれも
經文のごとくあらば
隨力演說もあ
べくゝ文

中老 日高聖人 總州中山法華經寺二世
中老 日保聖人 總州奥津妙覺寺
中老 日實聖人 駿州沼津妙海寺
中老 日禮聖人 總州曾谷法運寺
中老 日祐聖人 豆州玉沢妙本寺
中老 日忍聖人 相州相橋長福寺
中老 日門聖人 常州筑地妙光寺
富木殿 日常聖人 總州中山法華經寺

法華宗門諸聖略記日表

日持聖人 六老文貨第一蓮華阿闍梨駿品松尾蓮永寺祖 永仁三乙未年正月年四十六歳異國建立道場八ヶ處
日寂聖人 寂海法印淺草金竜山別當改宗 橋場長昌寺祖弘安九丙戌年十一月寂
日澄聖人 九老大乘阿闍梨池上大坊本行寺祖尾品熱田 本遠寺閑山外三箇寺祖嘉暦元丙寅年八月寂 八十八
日禮聖人 字法蓮曾谷三郎教信下総曾谷法蓮寺 芝崎禮林寺祖正應四辛卯年五月寂 八十一
日唱聖人 祖弟首題房初浄土宗拜高祖改宗下総令嶋田 唱行寺祖文永十癸酉年五月寂 八十八
日元聖人 祖弟水本坊令諏訪久本寺祖身延沢竹之房住建治 三丁丑年十一月寂師俗時有三男身延二世日進四世日善日上也
日位聖人 心壽院淺草山谷正法寺閑山 慶長十七壬子年七月寂
日正聖人 中與信重殿佐品中原妙經寺祖三月 清保房
日暹聖人 超中水見蓮乘寺閑山拜日印聖人改宗 嘉暦二丁卯年三月寂

日隆聖人　刑部卿阿闍梨俗工藤左近烝吉隆子居駿小松原銑忍寺三世建武元甲戌年十一月寂七十

妙珍聖人　阿闍梨日像菩薩弟子加駿卑村宝乘寺祖康永三甲申年八月寂

日傳聖人　建立院号大円律師三位日静聖人弟子京本圓寺五世應永十六己丑年四月寂六十八

日芳聖人　大僧正權政廣司公卿子日昊僧正弟子京妙顕寺七世天文三甲午年十月寂六十三

日成聖人　大泉居京妙覺寺日護聖人弟子佐駿塚原根本寺三世永禄二己未年二月寂

藤原爲家卿　高祖大菩薩弟子砌和哥及筆翰之師也建治元乙亥年五月

日利聖人　隆真院字獻桓京妙顕寺十九世中村六條兩且林化主元禄十三庚辰年八月化六十一

日理聖人　号本是院加駿清生山本是寺祖身延脫公師也明暦元乙未年十二月化

日遶聖人　紀駿浄心寺二代号感通院元和中養珠夫人病師祈之忽愈慶安四辛卯年十一月化

妙定比丘尼　一條關白殿經嗣公女住東寺法華堂正長元戊申年七月去

高祖大菩薩　光明帝康永二癸未年六月賜大菩薩号自八八戌六十二年後也祖第初真言宗歸伏高祖改宗京東寺門前法花堂祖延慶四辛亥年五月寂

熊王麿　祖師奴僕正應四辛卯年十月卒

日圓聖人　一条院辻戸芝某敬寺祖元亨三癸亥年八月寂

日遵聖人　法性院太田道灌持資四男天貫聰敏花山家猶子京本圓寺十三世大永元辛巳年正月寂

日曉聖人　瑞雲院下総正中山十三世慶長二乙巳年七月寂

日等聖人　妙玄院日玄聖人弟子初賜永紫衣祖池上廿四世享保十八癸丑年十二月寂八十二

日孟法師　字秀典鷹峯光悦寺祖寛永七庚午年十月寂

大覺聖人　大覺大僧正妙實近衛經忠公第子京妙顯寺二世貞治三甲辰年四月寂　六十八

妙文聖人　滝谷日乘俗第歸伏日像菩薩改宗越前臨本妙泰寺二世延文三戊戌年三月寂　八十四

日向聖人　六老聞谷第一佐渡阿闍梨延山二世上総藻原妙光寺祖正和三甲寅年九月寂　六十二

覺圓聖人　初真言宗歸伏日像菩薩改宗越前敦賀妙顯寺二世康永三甲申年正月寂

日意聖人　丹後院身延山十二世西身延京妙傳寺開山永正十六己卯年二月寂

日玄聖人　池上廿二祖妙悟院真間日祐聖人第子南谷旦林祖寛永元甲申年七月寂

本阿彌光悦　洛北鷹峯檀林開發願主能書也池上本門寺額書　寛永十四丁丑年二月卒

日祐聖人　壽量院延山日遠上人第子真間山十六世宇玄首寛文四甲辰年五月寂　五十五　飯高十三世祐記作者

日顗聖人　守玄院池上比企廿五世宝暦三癸酉年十一月寂

日乾聖人　救陸院江戸下谷長国寺開山鷲大明神祠有寛永十三丙子年三月寂

傳教大師　諱最澄比叡山延暦寺開山入王五十代桓武帝弘仁十三壬寅年六月入滅　五十六

日壽聖人　摩訶院池上比企兩山七世　身延元壬申年四月寂　二十二

日輪聖人　九老大經阿闍梨池上三世四十八ヶ所道場建立　延文四己巳夾年四月寂　八十八

日霽聖人　号通源京妙顕寺四世　應永十二乙酉年十一月寂　五十七

日詮聖人　壽量院妙經轉讀成乾一万部加勘五千部山祖　車村宝乘寺九世明應九庚申年三月寂　八十一

日澄聖人　本行院鎌倉日親聖人弟子京本法寺　三世永正十二乙亥年十一月寂

日勝居士　常勝院殿下総飯高城主平山刑部少輔同所飯　高且林閑居主天正十九辛卯年三月卒

日圓聖人　慧雲院博識著述多下総中村且林祖　慶長十乙巳年六月寂　三十九

日玄聖人　本覺院紀品塩遊村本久寺開山　寛永十六己卯年三月寂　五十三

日桓聖人　大僧正驚半院加藤清正引導師令出川右大臣晴　季公二男京本國寺十七世寛永廿一甲申年十一月寂

日崇聖人　上總細草旦林祖

日悟聖人　仙臺法運寺二世号了寂院盛公門人一生無欲清貧无息浄業貞享丙寅年正月化

妙樂大師　天台三大部記在天台六祖唐建中三壬戌年二月入滅七十二

日法聖人　中老和泉阿闍梨多刺高祖之影像甲寅立正寺開山暦應四辛巳年正月寂九十

日宗聖人　祖父初禪宗建仁寺榮西之徒学宗明歸伏高祖改宗甲寅遠光寺開山正應四辛卯年四月寂

日行聖人　九老妙音阿闍梨相模邑主子佐渡本光寺小田原浄永寺甲寅妙円寺各開山元徳二庚午年二月寂六十二

日嚴聖人　本高院京本圓寺七世叙法印位應永廿一甲午年四月寂

日栖聖人　大僧都中道院苔山院家稚子住大僧都京本圓寺十五世天正十一癸未年四月寂

日行聖人　延命院池上六世永享六甲寅年六月寂四十八

日要聖人　顕是院延山廿四世小室妙法寺十一世妙傳寺十世元和九癸亥年七月寂四十八　造祖山五重塔

日遠聖人　心性院延山廿二世池上比企十五世大野本遠寺開山寛永十九壬午年三月寂七十一

日隆聖人　大僧正隆源院令出川右大臣公規公猶子中村水戸六條三座化主京本圓寺廿世永戸久昌寺中興元禄十一戊寅年三月寂五九

日迨聖人　寂如院延山日脫聖人弟子居品小湊
誕生寺世一世元祿十四辛巳年四月寂　六十二

日貞聖人　善慈院道德寛大博著述多眞間山
十九世正德二壬辰年十一月寂

孝勝夫人　正三位池田輝政女也諱日巡

日性聖人　眞慈院大蓮寺世八次樹名陽讃法朱聖
玉山八幸慶安二己丑年五月化

六日

日亂聖人　祖弟下總古河妙光寺開山
德治元丙午年四月寂或云源三位頼政族古河邑主某子

日饒聖人　初天台宗因池上日山聖人化改宗
下總平賀本土寺六世正長元戊申年九月寂

日曉聖人　妙勝院將軍義政請于朝鮮一切經寄附
京本圓寺九世文正元丙戌年閏二月寂

日傳聖人　九老大門阿闍梨平賀本土寺二世岩部村
安房寺祖曆應四辛巳年三月於比企寂　九十五

日義聖人　玄妙院妙滿寺日代聖人弟子
京妙滿寺二世應永四丁丑年六月寂

日院聖人　下總中山九世
文龜元辛酉年六月寂

日亂聖人　眞淨院延山日意聖人弟子京妙傳寺
二世天文三甲午年七月寂

兎信居士　狩野古法眼宗門信者身延山佛殿書院畫
永祿四辛酉年十月幸画天狗其畫飛去對馬寺

日精聖人　三光院江戸下谷宗延寺開山
天正十二甲申年十一月寂

日陽聖人　本覺院織田信長公令軍旗書妙法首題尾品
名護屋法華寺五世住大僧都慶長三戊戌年四月寂

日善法師　真善院讀誦三百五千部余
天和三癸亥年九月化葬洛北妙秀寺

日惺聖人　佛果院二條關白良實公猶子池上十二世年迄
善國寺分四ヶ寺開山慶長三戊戌年七月寂　四十九

日裕聖人　通王院上総小西且林開祖
慶長十一丙子年十月寂

日重聖人　一如院延山廿世京本滿寺十二世
元和九癸亥年閏八月寂　七十五

日周聖人　常寂院京本圓寺廿四世甲山元政甥中村學成
享保元丙申年十月寂　生來法院

日登聖人　浴本禪寺一世
嘉吉二壬戌年正月寂

日演聖人　養珠寺三代号遍玄院讀誦四千八百部要品四千五
百返著述三十卷止觀輔行纂記高祖遺書解　延宝六戊午年五月化

宜翁上座　草山寛文元辛丑年六月化篤實温厚人
竹庵遺稿其外著述多

日昌聖人　示性院本滿寺火後大振力新常好學忘寢食
元禄六癸酉年五月化

章安大師　天台二祖
唐貞觀六壬辰年八月入滅　七十二

日興聖人　六老伯耆阿闍梨肇藝多一駿河富士
六石寺祖正慶元壬申年二月寂　八十八

日山聖人　大藏阿闍梨池上北企四世天台詔海級伏師政宗曰
名日饒永德元辛酉年九月寂　四十四

日了聖人　中道院甲斐一瀬妙了寺正慶寺外二ヶ寺之祖
正慶元壬申年八月寂　五十五

日臺聖人　鎧丹阿闍梨延山五世呼宮内卿波木井實長曽
孫貞治五丙寅年三月寂

日實聖人　号通覺朗源上人弟子京妙覺寺中興四世
永和四戊午年六月寂　六十一

日尊聖人　刑部卿法印正中山四世
應永六巳卯年九月寂

日叡聖人　上行院延山三位日進聖人弟子延山七世
池上北企三山兼職應永七庚辰年五月寂　八十三

日學聖人　成就院延山日叡聖人弟子延山九世
長禄三巳卯年十二月寂

日住聖人　本住院江戸本所法恩寺開山
文明十三辛丑年正月寂

日亮聖人　号淳譽京妙顕寺十世造立三ケ寺閑山慶長九甲辰年閏八月寂　六十二

日祝聖人　瑟眼院延山世三世慶長世乙卯年五月寂　四十九

日念聖人　鷲成院勤説法二万座江戸深川浄心寺中興宝永四丁亥年七月寂　七十四

妙順尼　州山養壽庵二世通内外學又能詩歌讀誦妙經壹千部享保八癸卯年二月化

日存聖人　号觀妙院紀昌養珠寺四世金山抄指導抄科解外著述多寛文十一辛丑年十一月化

釋迦牟尼世尊　中天竺毘羅衛國淨飯王宮御誕生震旦国周昭王廿六甲寅四月日　本地神五代麟鳳草菁不合尊甲寅周穆王四年十二月釈尊成道

鬼子母神十羅刹女

高祖大菩薩　御剃髪延応元己亥年十月御歳十八

日頂聖人　六老伊豫阿闍梨戒行第一下総真間山弘法寺閑山嘉暦三戊辰年八月寂　七十七

日久居士　豆州江川太郎左工門尉義久仁羅山本立寺開基且那弘安二乙丑年十一月寂

日進聖人　中老三位阿闍梨延山三世駿州富士郡柚野村正法寺開山建武元甲戌年十二月寂　七十六

日朝聖人　大越奈越後高田日朝寺開山元応二庚申年八月寂

日尊聖人　京恩法寺二世會津實成寺西寺祖慶永四乙酉年五月寂

日源聖人　能登奥生妙法輪寺開山初真吉宗僧歸伏日像菩薩至德三丙寅年三月寂　三十八

日億聖人　行學院學德兼備延山八世赤沢妙福寺祖永世九壬寅年十一月寂

日月明聖人　僧正字具覺著護國利正論上七　後小松帝京妙顯寺五世永享十二庚申年九月寂　五十五

日春聖人　天台宗字空存拜高祖改宗駿河富士長寺三世也五月八日寂未詳其年或云應安元戊申五月十六日

日秀聖人　玉洞妙院近衛關白道嗣公御子京本滿寺開山伏見墨染寺中興祖宝德二庚午年五月寂　六十八

日感聖人　禪智院下総真間中興十世飯高七世寛永六巳巳年三月寂

日養聖人　一乘院玉沢日通聖人弟子養珠院殿母池上世一世寛文十三癸丑年二月寂　四十九

日輝聖人　僧正尊明院大坂御門經光公御子京本圓寺世一世水戸藩二本寺再基正德三癸巳年十一月寂

日裕聖人　見竜院延山世四世元文二丁巳年正月寂

日調聖人　池上八世号大運門閣梨二十五歳夏彼西山至鹿五職五十年文亀元年酉年十月寂

日延聖人　大聖院妙覺寺六代紀昂多田郷妙臺寺者大覺僧正舊跡也依之如修文安元甲子年九月化

日近聖人　大野山四世常寂院訓讀二千部眞讀二千部一字三徧書写一部元禄十丁丑年閏二月化　八十四

日澄聖人　円明院著啓運抄鎌倉妙法寺三嶋円妙寺豆昂本立寺開山永正七庚午年二月寂駿府安立寺

日出聖人　一乘院延山日朝聖人之師鎌倉本覺寺豆昂三島本覺寺各開山長禄三巳卯年四月寂

日叡聖人　樗嚴坊大塔宮護良親王御子鎌倉妙法寺同所長勝寺各開山応永四丁丑年十一月寂　六十四

日亮聖人　正中山六世日蓮聖人俗弟同中山本行院開基応永三丙子年四月寂

日意聖人　妙高院平賀本土寺八世上総小西正法寺開山讀誦二千五百部文明五癸巳年四月寂　五十三

日遍聖人　大乘院眞間山七世日與聖人弟子江戸本所法性寺開基永禄三庚申年三月寂

日産聖人　良應院紀昂蓮心寺開山慶長十七壬子年九月寂　四十五

日淨聖人　覺性院妙經自讀五千七百六十七部京本瑞寺開山寛永十一甲戌年九月寂　六十七

日陽聖人　正覺院養珠院殿落飾師紀昂感応寺開山寛永廿癸未年十一月寂　五十八

日行聖人　十如院延山日賢聖人弟子江戸下谷善立寺二世寛文四甲辰年九月寂　七十七

日廷聖人　尊賀院伏見宮邦房親王御子京妙覺寺
世五世貞享元甲子年九月寂七十二

日了聖人　恵明院飯高化主駿嘉池田本覺寺退山十七年
不出門讀經三千三百部余

高祖大菩薩　佐渡御雜書御愛足依智村宿武蔵国忍王郡
久米川文永八辛未年十月御歳五十

日秀聖人　中老丹波阿闍梨上総墨田妙福寺播磨宮田
貴相寺各祖建武元甲戌年正月寂七十

日忍聖人　中老下野阿闍梨下総妙奥寺二世相模相模
長福寺祖外三ヶ寺開基応長元辛未年四月寂

日家聖人　中老叔日坊房州小湊誕生寺祖妙蓮寺
開山正和四乙卯年七月寂五十八

日英聖人　下総埴谷妙宣寺祖
応永世四丁未年八月寂

日圓聖人　妙仙院武州堀之内妙法寺開山
元和七辛酉年十一月寂

日收聖人　智雄院号一鶴肥後熊本常光寺二世
慶安三庚寅年十一月寂七十二

日祥聖人　通明院京雑色山且林開山
寛文十一辛亥年八月寂六十六

日順聖人　紀州吹上報恩寺開山
元禄十三庚辰年九月寂六十四

日選聖人　本住院肥後本妙寺四代妙體寺慶光寺法蓮寺
祖説法四千余座授法千人余著述多義応元壬辰九月化

日登聖人　了雲院瑞輪寺四代妙雲寺祖
寛永二乙丑年九月化

十一日

高祖大菩薩　房州小松原御難
文永元甲子年十一月御歳四十二

日玉聖人　妙隆院工藤左近丞小松原光身行者房為天津
日澄寺鏡忍寺二祖文永元甲子年十一月闘死

日曉聖人　鏡忍房小松原光身行者房為鏡忍寺二祖
文永元甲子年十一月闘死

日合聖人　中老銑前阿闍梨下総野呂妙真寺祖
永仁元癸巳年十月寂或人曰師者曾谷入道之孫也

本蓮法師　大橋太郎子俗名大橋貞經屋為津島本蓮寺開山
正嘉元丁巳年六月寂七十二

浄本房　祖師上京初止宿書肆天王寺屋五條油小路
妙堯寺祖弘安三庚辰年九月寂

日傳聖人　宝聚院延山十三世山門安置二王大像
天文十七戊申年十二月寂六十七

日辰聖人　玄竜院江戸谷中宗林寺開山
応安四辛亥年三月寂

日新聖人　慈雲院延山十七世江戸谷中瑞輪寺開山
文禄元壬辰年八月寂五十八

日通聖人　寂遠院延山三十世池上世世字玄海城西
真如寺開山延宝七己未年二月寂六十六

日忠聖人　正孝院熊野新宮本願寺開山
正德二壬辰年十一月寂　七十二

日詮聖人　円妙院京本圓寺廿五世字惠中中村學成
京松嵩化壬享保八癸卯年五月寂　七十九

十二日

高祖大菩薩　伊勢東左遷弘長元辛酉年神歳　四十
龍ノ口御難文永八辛未年九月夜子丑時　神歳五十

日德聖人　祖父武品墨田五郎入道時光新曽妙顕寺
二世正中二乙丑年十二月寂

日經聖人　大僧都十五歳西紹繼至位故呼兒貫主
京本圓寺六祖應永十八辛卯年正月寂　十七

日傳聖人　中老肥前阿闍梨和真官翻楚歸伏高祖改宗
甲品小室妙法寺祖乾元元年壬寅年二月寂

日保聖人　中老神法眼房品小湊二世上総真津
妙覺寺開山僧應安三庚辰年四月寂　八十三

日具聖人　僧正吉田家番神問答師京妙顕寺六世
文亀元辛酉年二月寂　七十九

日祝聖人　妙圓院中山日薩聖人弟子京頂妙寺祖
永正十癸酉年四月寂

日道聖人　法雲院延山十九世飯高三世
慶長六辛丑年閏十二月寂　五十

日耀聖人　円是院池上十八世飯高十二大講堂再建
明暦元乙未年十月寂　玄義解文句示童記作

日燈聖人　字慧明号波羅密元政法師弟子
深川瑞光寺二世享保二丁酉年九月寂　七十六

日忍聖人　慈光院深忍元政法師弟子載門山集
京立本寺世四世享保九甲辰年六月寂　七十七

日如聖人　本寂院字是心如即壹本通九師弟子說法三千七
百七十座受戒人五百人本光遺集元祿十二巳卯年十月化

高祖日蓮大菩薩　弘安五壬午十月
御入滅御歳六十一

日像菩薩　九老肥後阿闍梨龍華樹院四海唱導師
京妙顯妙覺兩寺開山康永元壬午年一月寂　七十四
号朗源院池上右工門太夫

日崇聖人　宗仲永仁元癸巳九月寂

妙法聖人　六浦平次郎入道光善中山日祐弟子相州六浦
妙法寺祖觀后二年卯六月寂

日源聖人　中老駿州岩本實相寺武州碑文谷雜司谷
堀之内妙法寺各祖正和四乙卯年九月寂

日貞聖人　仕松尾山西海總導師職中山日高弟子中山
法宣院開基后安二巳酉年九月寂

日慧聖人　中山日祐聖人弟子中山安世院開基
后永世一甲辰年三月寂

日妙聖人　法淨院延山日朝聖人弟子尾州葉栗郡
法蓮寺開山文龜二壬戌年七月寂

日賢聖人　妙雲院延山十八世秀吉公妨瑞竜院服師道化
慶長四巳亥年閏三月寂　四十一

日長聖人　円覺院初名造澄伯州威后寺雲州慈雲寺
各祖慶長十六年辛亥五月寂　九十

日觀聖人　中明院下總野呂且林閑墓江戸牛込幸國寺祖
慶安三庚寅年十二月寂

日省聖人　智寂院延山世二世字老辯正德三年夏祈雨有驗
享保六辛丑年正月寂 八十五

源頼朝公　右大將於豆州蛭小島世丑ヶ年間日法華經
二部讀誦正治元己未年正月薨 五十三

妙朗尼公　日朗聖人母

日禎上人　小湊飯高主号一善院妙經一万八千部
享保七壬寅年六月化

妙亮尼　京依天王寺屋淨本妙蓮之旧地本蓮寺旧号建寺
呼神力山妙亮寺天正十一癸未年十一月卒

妙是日相尼　月心院加品之産書写妙經紺紙金泥一字一蓮一字三礼一字華
香一部成就以謝佛祖恩千住日慶寺中興宝永二乙酉年十月卒 八十一

十四日

摩耶夫人　釈尊御母君天竺善覺長者女淨飯大王后
周昭王廿六年甲寅四月佛誕生後七日滅

妙日尊靈　高祖父君貫名重忠
正嘉二戊午年二月寂 八十七

日證聖人　祖父兵部阿闍梨真間日頂聖人弟子呼寂仙房
駿州常林寺開基延慶三庚戌年三月寂

日祐聖人　大貳阿闍梨智福院叡山尊海弟子豆州
玉沢二世貞治元壬寅年正月寂

日助聖人　蓮光院天文法乱有卓諦女利益京本圓寺十四世
任大僧都天文廿二癸丑年七月寂大政大臣藤原政長公猶子

日友聖人　中正院著玄義据釈文心解顕性録鈔池上十五世
下總飯高且林八世元和五巳未年六月寂 五十

日慶聖人　智存院江戸本鄉九本妙寺開山
元和六庚申年二月寂

日勻尊尼　久昌院水戸黄門公讃岐頼重候母君
寛文元辛丑年十一月寂

日海尼　相州小田原城主北條氏綱女九山淨心寺祖
天文十九庚戌年九月化号淨心院

千日尼　阿佛房日得妻藤九郎盛綱母
乾元元壬寅年八月寂

十五日

妙見大菩薩

釋迦牟尼佛　東天竺俱尸那城跋提河西純陀家久遠實成大覺皇世尊御壽八十周穆王五十三壬申年二月御入滅

妙蓮尊尼　高祖母君梅菊御前舍人親王齋清原氏文永四丁卯年八月寂

日頭居士　妙法華伊東朝高豆州佛光寺同佛現寺各開基建治元乙亥年三月寂

日滿聖人　中老豐後阿闍梨藤九郎盛綱阿佛坊子北陸道七州之導師佐州妙宣寺祖康永二癸未年八月寂 八十九

日範聖人　九老大前阿闍梨豆州舟田本教寺相州円教寺外三乡寺丹波福智山常照寺各開山元応元己未年三月寂

日學聖人　本行院比企大學三郎能本鎌倉妙本寺開基且那弘安九丙戌年二月寂 八十五

日頼聖人　祖父收玄院四條中務頼基妻延山端場房祖正安二庚子年三月寂 七十一

日眼聖人　号殊勝四条中務頼基妻嘉元元癸卯年三月寂

日護聖人　中正院紀州養珠寺二世京三宝寺開基慶安二己丑年四月寂 七十

日陽聖人　中道院日純聖人弟子池上十世
天文十九庚戌年二月寂 五十五

天哉長嘯居士　大成院木下若狭少將勝俊本化宗致信伏
持者慶安二巳丑年六月寂 七十一

日審聖人　靈鷲院説法二万坐機法九万余人京立本寺
廿世世称壺日審寛文六丙午年三月寂 六十八

日豊聖人　僧邪院深州元政聖人之師池上十九世字唯遠京妙顕寺十四
世寛文九巳酉年六月寂飯高中村西谷化又号鷲峯院

日慧聖人　智定院讀誦成就三万九千五百六十三部
京妙顕寺廿一世享保十五庚戌年九月寂 八十八

日答聖人　廣演院延山廿八世
寛延三庚午年八月寂 七十三

日淵聖人　久遠院洛東寂光寺開山
慶長十四巳酉年二月寂 八十

日目聖人　蓮藏阿闍梨洛要法寺開山
正慶二癸酉年十一月寂 七十四

元信日入　草山平樂庵祖元政元贊元信世三元唱其一也
天和二壬戌年六月去

日能聖人　号榮昌院説法五千五百座讀經三千五百部越中高
岡大法寺祖執著子礼者凡五百有余人長享二戊申年十一月化 七十八

道善法印　高祖御幼童剃髪師房州清澄寺主
建治二丙子年三月寂

高祖大菩薩　御誕生於房州小湊浦仏滅後二千百七十年
貞応元壬午年二月大吉辰午刻

日成聖人　号出羽阿闍梨日昭聖人弟子越後村田
妙法寺二世延元二丁丑年四月寂

日華聖人　俗日房駿州富士妙蓮寺開基
建武元甲戌年八月寂

日輝聖人　長全院江戸谷中感応寺開山
文明六甲午年三月寂

日尊聖人　蓮成院廣橋国光卿御子池上十三世
下総飯高且林開基慶長八癸卯年三月寂 四十六

日通聖人　功徳院道德高才謂日親再來中山十四世
京本法寺十世慶長十三戊申年正月寂

日衍聖人　号春星京妙顕寺十二世
慶長十六年辛亥十月寂 五十三

日覺聖人　上行院江戸浅草本覺寺開山
元和八壬戌年十月寂

日億聖人　尊重院江戸芝金杉正傳寺開基
寛永七庚午年九月寂

日忠聖人　釋那院舊西柴又村題經寺開山水戸久昌寺
開基中山十九世万治三庚子年十月寂

日德聖人　真林院與深草元政交篤京本法寺十九世
寛文九巳酉年正月寂

日養聖人　覺隆院精修嚴密十七年中轉讀三千部
加州車村宝泉寺廿世寛文十一辛亥年四月寂

日允聖人　本通院中山廿五世本法寺十八世妙覺寺
廿四世元禄五壬申年十一月寂　七十四

日妙聖人　南無院京妙顕寺廿二世松嵜化主頂妙寺
中山又深妙宝塔寺宝永七庚寅年十月寂　七十三

日宜聖人　忍称院京本圓寺廿三世中村化主字素雲
正德四甲寅年三月寂　七十

日堂聖人　正善院池上日惺聖人若子淺草大仙寺開山
正保二乙酉年三月寂　七十一

日祇聖人　洛本法寺二世長亨二戊申年十月於
筑前博多寂

妙受信女　越後頸城郡人三十三歳死望日義生聞誦此經難持愛人生育、出改
宗者九百人余寛永十九壬寅年十二月去七十戊寅年[illegible]

十七日

高祖大菩薩　延山御開闢
文永八辛未年上一甲戌年六月御歳　五十三

日親聖人　久遠成院世称鑑冠日親道德堅固京本法寺
大坂正法寺外世四ケ寺開山長亨二戊申年九月寂　八十二

日演聖人　顕壽院正中山廿七世京東山善正寺且林四世
万治元戊戌年閏十二月寂

日賢聖人　中老浚路阿闍梨武州雜司谷二世駿州村松
海上寺二世暦応元戊寅年三月寂　九十六

日與聖人　聚樂院真間山七世
天文十五丙午年九月寂

日從聖人　信解院滝谷日遠若子讀経四千余部説法三千余
座中村水戸化主京本圓寺廿二世宝永五戊子年十二月寂　五十九

日秀聖人　大閣秀吉公豊臣秀頼公御父子歩伏見
墨染寺開山元和七辛酉年七月寂　五十六

信解日了尼　讀経三千二百部万治二巳丑年
五月紀州而終身延住諸七度

了秀院尼公　久我中納言晴通卿女
智照山惠光寺祖

日相聖人　号久成院尾州法蓮寺十三世讀経六千部
正宇妙経八軸世日相本云享保戊戌十月化

日閑聖人　号一源院貞松十四世孫生行子卯寅起修業又得筆道妙天下祕之云永禄三庚子年二月化　八十一

鬼子母神十羅刹女

高祖大菩薩　池上御入山灵山誠立祖師尊像彫刻弘安五壬午年九月御歳　六十一

朗源聖人　權少僧都京妙顯寺三世妙覺寺立本寺祖永和四戊午年正月寂　五十三

日永聖人　祖弟蓮性坊本間六郎左工門重連伯州妙純寺開基同實相寺永仁四丙申年二月寂

日代聖人　本覺院駿州富士西山本門寺開山明德五甲戌年四月寂

日住聖人　眞如院京妙覺寺十世和哥山正住寺開山文明十八丙午年九月寂

日教聖人　大覺院越中高岡村妙傳寺開山讀經二千余部說法七百六十三座明應二癸丑年四月寂　七十五

日尋聖人　久遠院松前法華寺中興享禄元戊子年五月寂

日孝聖人　大中院元政身延紀行書受元和帝優賞房州小湊世三世元政弟子宝永五戊子年十月寂　六十七

元政聖人　日政号不可思議深草瑞光寺祖寛文八戊申年二月寂　四十六

日辰聖人　刑部院延山四十三世而氣守護
明和二乙酉年十月寂　八十

日榮聖人　祖第最蓮坊或曰日淨甲州下山本國寺祖
延慶元戊申年四月寂忌日又曰二日

日弘大居士　三沢院弘法山三沢寺祖五月

日應聖人　字空心遠公之法孫入一谷妙照諸堂一新
享保十八丑年七月

七面大天女

日乘聖人　辻之房法印真妙院甲州休息立正寺二世
高祖三十番神畫軸付宝延慶三庚戌年十二月寂

日燈聖人　越王院本滿寺日秀上人第子京本滿寺三世
文正元丙戌年三月寂

日祐聖人　師阿闍梨淨行院伝書城主千葉胤貞子
正中山二祖肥前松尾山開祖起安七甲寅年五月寂　七十七

日泰聖人　心了院兩総州鴨伏為七ヶ里法華祖京妙滿寺
十六世下総濱野村本行寺祖永正三丙寅年正月寂

日詔聖人　字無問号自證院池上十四世小西且林二世池上造
五皇堵元和三丁巳年四月寂　四十九

日樹聖人　長遠院淺草長遠寺開山
寛永八辛未年五月寂

日運聖人　法音院淺草玉泉寺開基
慶長十九甲寅年三月寂

日應聖人　寂陸院延山四十五世　志津摩恵師ト云能書也
安永二癸巳年十二月寂　七十二
洛本法寺中興
元禄六年十一月

日良聖人　名圓通洛比燈明寺開基
萬治三庚子年七月寂

日順聖人　攝州上牧本瀧寺開基
永正八辛九月寂　八十二

日運聖人　号本藏院加州妙珍山十九代四方山本藏寺祖
妙經轉讀三千部寛永九壬子年二月化

二十日

日常聖人　祖父常忍修院富木五郎入道正中山
法華經寺開基正安元己亥年三月寂　八十四

日門聖人　中老一乘阿闍梨常州築地妙光寺奥州善相寺
各祖永仁四年丙申七月寂或云嘉暦三戊辰十二月

日印聖人　九老摩訶一院阿闍梨越後本成寺名越本勝寺
祖外二夕寺開山嘉暦三戊辰年十二月寂　六十五

日通聖人　大僧都本間六郎孫或州島根祖當御三代
待軍賜尊命天下長久山国土安穏寺　応永廿年癸巳四月寂

日福聖人　丹琳房下総平賀六郎江戸二本榎承教寺
開山宝徳二庚午年十二月寂　七十三

日整聖人　琳琉院延山十六世有庫厨詩世呼庫厨上人
天正六戊寅年八月寂　七十六

日鳳聖人　鷲山院初禪宗從日慈聖人改宗
能州滝谷妙成寺十三世元和三丁巳年七月寂

日銀聖人　丹頻院深草宝塔寺中興字文旨草山集出
寛永十一甲戌年九月寂

日廷聖人　一心院京本圓寺十九世住律師中村鷹峯
兩且林化主元禄三庚午年八月寂　七十四

日耀聖人　勝光院京本圓寺日達聖人師中山世九世
本法寺廿一世妙顯寺十八世元禄十丁丑年十一月寂　六十二

日宗聖人　境妙院延山日境聖人弟子宗妙顕寺十九世
元禄十三庚辰年正月寂　八十五

日潮聖人　六天院博聞知識仙堂孝勝寺宗勝出此代
延山世六世寛延元戊辰年九月寂　七十五

日輪聖人　円通院延山四十世
宝暦四甲戌年四月寂　六十四

日秀聖人　境智院洛上行寺開山
慶安元戊子年八月寂　七十二

日雄聖人　本行院洛本行寺開山
寛永十二年三月寂　六十五

日善聖人　蓮性院洛妙満寺廿八世同善立寺開基
元和三丁巳年三月寂

日玄聖人　紀州本久寺祖讃経一万千八百部
天和元辛酉年九月化　七十七

日量聖人　巻書院讃經二千七百六十部寿量十万八千巻
甲州妙了寺十六世正徳元辛卯年九月化

日守聖人　字洞澄号一相院紀州浄心寺三世一世異人也
州山集中南紀澄公遺書アリ元禄六癸酉八月二十日化

日勝法師　字尊中　鷹峯和尚足庵祖
明暦二丙午年九月

日朗菩薩　六老僧開基給仕第一池上本門寺鎌倉妙本寺
平賀本土寺各二祖三長三本云元應二庚申年正月寂　八十八

妙紹日心大姉　養珠院殿紀州水戸両公御母君
義應二癸巳年八月歿　七十七

日賢聖人　祖第浄觀房本間三郎左工門尉直宣
元徳二庚子年五月寂

日心聖人　祖第号久成院元真言宗小室日傳上人之俗第也
甲州中条村長遠寺祖康永二癸未年九月寂　八十八

日成聖人　明珠院京妙覺寺五世
應永廿二年乙未三月寂

日得聖人　祖第阿佛房遠藤五衛門尉為盛依州妙宣寺祖
弘安二巳卯年三月寂　九十一

日陣聖人　南無門一阿闍梨越後本成寺三世京本禪寺
開基應永廿六巳亥年五月寂　八十一

日純聖人　惠眼院世人謂雷上人池上九世
天文十九庚戌年三月寂　六十九

日成聖人　大泉房佐州塚原根本寺開基
永禄二巳未年二月寂

日現聖人　佛書院世人謂權者現師池上十一世
文禄四辛酉年七月寂　六十六

日諦聖人　常光院世称与堺三法道徳兼備之師
天正十三乙酉年八月寂

日治聖人　蓮蔵院加越立像寺四刹開山加州亞相
利家郷飯依之師慶長十乙巳年八月寂

日眼聖人　即如院江戸深川浄心寺祖
明暦三丁酉年十二月寂

日竟聖人　誠本院延山世五世
享保十九甲寅年正月寂　五十八

日寛聖人　薩心院延山三十七世
寛延三庚午年正月寂　六十七

日體聖人　瑞輪寺七世通慮院宇叔達明暦中挫不受
不施邪義延宝二年三月化　五十三　讀経五千余部

日好聖人　宇唯妙号禪智院中村六条化主録内扶老同拾遺録
外徴考著読経三万三千余部　書寫妙経三部　享保十九甲寅　説法六百三十五座七月廿一日八十化

日匠聖人　号本地院本法寺二十代親師德行記外著述多
元禄二己巳年六月化　六十二

廿二日

聖德太子　入皇世二代用明天皇第一皇子
推古天皇廿九辛巳年二月薨　四十九

道崇居士　最明寺北条時頼執權十一年改正世治
弘長三癸亥年薨　三十七

日善聖人　九老大法阿闍梨延山四世安中山大法寺祖
貞和二丙戌年十二月寂　七十六　又云元弘二壬申年九月寂　七十

日靜聖人　祖第一位阿闍梨學乘房佐州一谷妙照寺
同實相寺各開基正安三辛丑年六月寂

妙法尼　尾張次郎兵衛女駿州岡野妙法寺祖
弘安五壬午年二月寂

日佛尼　祖第号妙了中道院日了母
正安元己亥年八月寂

日實聖人　竜華院号玄式妙顕寺日霄上人弟子
京立本寺五世長禄二戊寅年四月寂

日叙聖人　空藏院延山十五世信玄逼身延師確乎不動
天正五丁丑年五月寂　五十五

日經聖人　常樂院京妙満寺廿七世
元和六庚申年十一月寂

日眞聖人　東光院延山乾上弟子加藤清正飯依肥後
本妙寺開山妙傳寺十二世寛永三丙寅年四月寂　六十二

日 饒聖人　奥善院京妙顕寺十三世字英月飯高徒
小西化主正保元甲申年九月寂 七十二

日 東聖人　蓮乗院池上比企兩山十七世字常然
飯高小西化主慶安元戊子年十一月寂

日 脫聖人　一円院東山帝辯天顔賜紫衣權輿延山世一世
字空雅元禄十一戊寅年九月寂 七十五

日 供聖人　領詳院池上比企兩山三十四世
寛政十二庚申年六月寂

日 慈聖人　近要院妙顕寺世四世中村六條兩且林化主讀經
五千余部說法五千余座享保世年乙卯十月化 七十二

日 豈聖人　上総妙覺寺中奥官賜　永璽讀誦妙經三万
六千部慶安二己丑年六月化

日 慶聖人　飯高法界寺閑山讀經一万七千部
寛永十六己卯年十一月寂

日 慶聖人　江戸本所本法寺閑山
寛永五戊辰年十二月寂

壮三日

日 朝聖人　祖父常在院上総藻原遠江守兼綱下総多古
妙光寺為村妙光寺祖弘安六癸未年五月寂

日 嚴聖人　足利將軍尊氏公叔父中老日位弟子駿州
池田本覺寺二世貞和三丁亥年二月寂

日 鋭聖人　本妙院京東山且林閑墓
元和二丙辰年二月寂

日 實聖人　中老但馬阿闍梨駿州沼津妙海寺祖祖師眞書
三十番神名付宝正和三甲寅年十月寂

日 位聖人　中老治部卿駿州池田本覺寺村松海上寺
兩祖文保二戊午年四月寂

日 禎聖人　僧正究竟院廣橋国光卿御子日栖弟子
仕權僧正京本國寺十六世元和三丁巳年八月寂

日 乗聖人　餐德院權律師著孝拾記京妙満寺世二世
正保二乙酉年四月寂

日 勇聖人　法性院西洞院時直延山畢上弟子京妙傳寺
十四世山科且林閑墓慶安三庚寅年十二月寂 四十七

日 奠聖人　妙心院江戸谷中妙行寺開山世八世能登
滝谷妙成寺世世字義道中村九世寛文七丁未年十月寂 六十七

日 龍聖人　精進院隱遁自慈山居鷹峯呼和足庵
京頂妙寺八世寛文九己酉年九月寂 七十六

日桂聖人　東都瑞輪寺六世相品田畑村人讀經一万部成台立寺令百部也延宝元癸丑年七月化　八十一

日條上人　等福夫人之内妃　正覺院瀧谷十五代元和元年像并舊跡能品大野村再立寺以尚玄阿闍梨為祖妙正寺是也　外三ヶ寺建立　慶安三庚寅年九月化

廿四日

東陽傳大士　始造一切經之輪藏　陳大建元己丑年四月寂　七十六

天台智者大師　諱智顗字德安陳潁川人奉尊号法空宝覺靈慧大禪師隋開皇十七丁巳年十一月入滅　六十

日禪聖人　号素頻初禪宗歸伏日像并改宗　若州小濱妙泉寺二世建武二乙丑年十月寂　七十

日教聖人　西國寺藤公子京妙顕寺九世　天正六戊寅年七月寂　廿三

永運日乗神儀　浄池院殿加藤肥後守清正侯熊本本妙寺建立慶長十六辛丑年六月卒　五十五

日生聖人　教藏院立本寺九世飯高松寿且林　講經鼻祖文禄四乙未年七月寂　四十三

日閑法師　仙壽院身延汰衍禱中臭延山積善房　十世慶長六辛丑年七月寂　九十八

日悟聖人　平賀本土寺十三世上総小西且林　慶長十九甲寅年四月寂

日秀尊尼　瑞竜院妙惠前關白豊臣秀吉公御妹君　京村雲御門祖寛永二乙丑年四月覺　九十二

日芳尊尼　瑞林院加藤清正女紀品頼宜公御簾中　寛文六丙午年正月寂

日完聖人　即是院京勝光寺開山說法教化五十八州
寛文八戊申年十一月寂　七十八

日題聖人　蓮華院著中正論
正德四甲午年六月寂　八十二

日芳聖人　成壽院池上比企女六世
宝暦五乙卯年三月寂

日堯聖人　三沢且林開基
享保十七子年十二月寂

日脫居士　号萬好齋如水道脫太田大和守資高
江戸本所法恩寺開基且郷天文十六丁未年七月卒

日隆聖人　通妙院来名円妙寺祖大振修驗力度衆生雪中入二七
西山池苦行不息任權律師宝永七庚寅年二月化　七十七

妙立日修　甲州勝沼人其子出家呼不借日命夢相謀鶴瀬村
造常住寺一村皆改宗日修唱題五千部元禄七甲戌年十一月去

廿五日

菅丞相　右大臣贈正一位菅原道真公法華經書寫
敕部號前太宰府安樂寺墳延喜三癸卯年二月薨　五十九

日院聖人　實教院初陸中老進上剃髮臺上弟子
延山六世府安六癸丑年六月寂　六十二

日隆聖人　精進院桃井左馬頭尚儀子京本能寺尼寄
本臭寺谷開山寛正五甲申年二月寂　八十一

日能聖人　榮昌院本圓寺日曉上人弟子越中
高岡大法寺開山長享二戊申年十月寂　七十八

日郷聖人　六老日真上人弟子駿州富士久遠寺開基
永和二丙辰年八月寂

日圓聖人　法寂院波木井實長身延山地主
永仁五丁酉年九月寂　七十六

日朝聖人　加賀阿闍梨行學院延山十一世鎌倉東身延祖
建立十余ヶ寺明応九庚申年六月寂　七十九

日廣聖人　天文中叡山徒有憤訟官師示論旨徒退
京妙顕寺八世天文廿一壬子年八月寂　四十八

日鏡聖人　善學院延山十四世西谷且林祖
永禄二己未年四月寂　五十三

日詮聖人　山先院因三井寺需作四教儀詳解
天正七己卯年七月寂

日典聖人　京妙覺寺十八世佐州塚原根本寺八世
文禄元壬辰年七月寂

日紹聖人　大僧都京妙顯寺十一世對治不受
元和八壬戌年六月寂　八十一

日英聖人　本覺院崇称宗旨持戒一祖京立本寺十六世
正保四丁亥年正月寂

日運聖人　僧正東體院六條宰相卿子日桓弟子
京本圓寺十八世貞享三丙寅年十一月寂

日春聖人　中道院生涯誦三百七千余部字是然
京妙顯寺十六世元禄十五壬午年正月寂　八十一

日堯聖人　一妙院大野七世正德四甲午年十月化兼知死期
著述多文句解七卷十部余外有燈下隨筆云

日近聖人　号遠成院中村徒鷹峯化主本法寺廿二代
博學宏才教餘子隅集享保八癸卯年正月化

乘明聖人　太田左工門尉高祖太且那
弘安六癸未年九月寂　七十六

日榮聖人　大明房京本圓寺日淨上人弟子
相州三浦大明寺開山応永八辛巳年十一月寂

日辨聖人　中老越後阿闍梨下総峯妙典寺上総鷲山
寺祖応長元辛未年閏六月寂不詳世壽　異五　七十二

日昭聖人　六老大成弁阿闍梨智惠第一豆州玉沢
妙法華寺開山元亨三癸未年三月寂　八十八

日高聖人　中老師阿闍梨太田金吾乘明子能書
正中山二世外四ヶ寺開基正和三甲寅年四月寂

天目聖人　中老美濃阿闍梨武州品川妙國寺佐野
妙顯寺外二ヶ寺開山延元二丁丑年四月寂　叡山僧水戸　修多羅寺

日延聖人　觀行院延山日儀聖人弟子延山十世
寛正二辛巳年四月寂

春苑静勝居士　春月院太田道灌右工門太夫持資高才
風流人文明十八丙午年七月卒　四十二

日幸尊尼　正心院殿江戸浅草幸竜寺祖
慶長十八癸丑年正月寂

日遥聖人　本行院朝鮮河東人加藤清正同伴
肥後熊本本妙寺三世万治二己未年二月寂　七十九

日蓮一代記聖人御書

日延聖人　可觀院房州小湊十八世江戶白銀覺林寺祖
寛文五乙巳年正月寂

日崇聖人　仙能院高祖退治蒙古藏幡曼陀羅江戶本所
押上敢教寺祖寛文十三癸丑年七月寂　七十四

日亨聖人　遠沾院中御門帝賜永紫衣祖延山世三世
享保六辛丑年十二月寂　七十六

日達聖人　了義院京本圓寺廿六世著述多上梓十八部
中村鷹峯六條化主延享四丁卯年二月寂　七十一

日言聖人　天安院洛頂妙寺二世
弘治二丙辰年八月寂

日空聖人　妙顯寺十七世字眞頂号觀樹院中村冠山松嵜
六條四且林化主元禄六癸酉年正月寂　六十九

日存聖人　京妙蓮寺祖寶公之巷子号精進房
應永廿八辛丑年三月化

廿七日

日念聖人　松本房六老日頂聖人巷子房州南無谷
妙福寺祖建武元甲戌年八月寂

日滿聖人　日朗菩薩弟子平賀本土寺四世
永和五巳未年七月寂

日靜聖人　妙竜院足利尊氏外叔父殿中問答記主本圓寺
四世三位僧都元在鎌倉此代依敕移京都應安二己酉年六月化七十二

日乘聖人　初眞言宗歸伏日像并陂宗能品滝谷
妙成寺二世康暦二庚申年六月寂　百十才

日遣聖人　慈光院江戶下谷德大寺祖
応永二乙亥年五月寂

日堯聖人　大聖院花山家猶子京本圓寺
十一世永正三丙寅年五月寂

日琉聖人　佛心院中山十一世輪番祖京頂妙寺三世
堺妙國寺祖慶長戊戌年八月寂　六十七

日門法師　普傳房織田信長公時代安土論主
天正七巳卯年五月寂

日盛聖人　了現院江戶谷中瑞林寺三世
元和五巳未年三月寂　五十六

日乾聖人　寂照院攝品能勢郡妙見山開起延山廿一世
虜峯且林攝品眞如寺開山寛永十二乙亥年十月寂　七十六

日受聖人　瑞林寺二世寛永四丁卯年正月寂　慧性院延山日新聖人第子江戸谷中

日明聖人　貞松山八世正保二乙酉年五月寂　円照院日遠第子下総飯高旦林十一世

日禪法師　能声明寛文十庚戌年六月寂　宝塔院京本圓寺塔中清品賀盧

日蓮聖人　中村十世延宝九辛酉年正月寂　隆源院字春山延山廿九世京妙顕寺十五世

日潤聖人　池上廿三世享保二丁酉年正月寂　慈雲院池上廿二世日玄聖人第子

妙弘日證尼公　崩御後受戒万治三年六月逝　称法誓院事于　後陽成帝生三　皇子

乘運阿闍梨　本真寺至徳三年丙寅四月化後現三十番神　日像菩第子就師弘通地建寺四品蘂師村

廿八日

鬼子母神十羅刹女

高祖大菩薩　於清澄寺向旭初唱南無妙法蓮華經十返　建長五癸丑年四月　撰時護国家論御歳三十二

朗慶聖人　小田原妙福寺各祖正中元甲子年二月寂　九老越中阿闍梨鎌倉接畠法性寺

日什聖人　五ケ寺祖明徳三壬申年二月寂　二位僧都玄妙法師京妙満寺開山外

日了聖人　鶴依京本圓寺十二世永正七庚午年八月　僧正勸行院苔山家猶子太田道灌

源義經　文治五己酉年閏四月歳三十九　從五位下九郎判官

日純聖人　元和八壬戌年十月寂　佛眼院京妙満寺世世上総宮谷旦林祖

日深聖人　開山寛永四丁卯年十二月寂五十四　妙教院延山廿五世本満寺十五世相品本迹寺

日通聖人　延宝八庚申年二月寂　修行院本所押上本佛寺開山

日境聖人　万治二己亥年十月寂五十八　通心院延山廿七世獻長中村八世

廿九日

日總聖人　貞明院延山三十九世　寛延四辛未年六月寂　八十二

日像并弟子西京真經寺開山　延文元丙申年二月寂

實賢聖人　成就院財宝豊饒呼大黒聖人日野家猶子　仕大僧都京本圓寺十世延德元己酉年七月寂

日圓聖人　祖弟初妙常高祖名日妙聖人橘樹伊与守定時　妻六老日頂真間日證丙上毋正安三辛丑年二月寂

日妙聖人　大周院京本圓寺八世任大僧都華山家猶子　永享五癸丑年正月寂

日聰聖人　常不輕院京本隆寺開山　享禄元戊子年三月寂

日真聖人　智寂院妙傳寺七世飯高五世延山西谷三世　慶長九甲辰年七月寂

日豪聖人　京本法寺十一世下総中村且林二世　慶長十八癸丑年九月寂

日因聖人　壽仙院岡崎善立寺七世江戸下谷善立寺　開山元和五己未年四月寂

日得聖人　知見院延山世六世不受退治　慶安元戊子年五月寂　六十三

日暹聖人

日長聖人　惠照院江戸谷中延命院開山
貞享二乙丑年十一月寂　八十一

日顯聖人　長遠院洛本正寺開山
寛永廿一甲申年十月寂　七十五

日遼聖人　字貞山号慈眼院了現日盛門入猿江慈眼寺祖
讀經五千部谷中瑞輪寺五代慶安元戊子年三月化　六十一

三十日

日倪聖人　下総正中山十一世中村中臭
慶長三戊戌年五月寂

日惠聖人　本瑞院肥後熊本本妙寺日眞聖人弟子
長嵜本蓮寺開山寛永十九壬午年十月寂　六十三

日梵聖人　見妙院藏佛在世製裟贈元政因作記
京華光寺住延宝四丙辰年六月寂　七十四

日舜聖人　吳鷲院京妙泉寺祖
享徳三甲戌年五月寂　七十六

日住聖人　養眞院下総飯高且林廿一世讀經五千部江戸
谷中瑞林寺八世甲寅佛國寺開山宝永六己丑年三月寂　七十五

日啓聖人　智覺院堺妙国寺日秀聖人弟子中村化主中山
京妙顕寺廿三世享保十三戊申年四月寂　七十二

日隆聖人　小松原開山工藤氏一子豊磨字榮長

日寛聖人　字尭恩飯高徒小西講經十一年大野山六代以掃除
衆徒不受不施邪意元禄元戊辰年九月化　七十二著述多

○法華日蓮宗本山略記

總本山	山梨縣甲斐國巨摩郡身延村	久遠寺
大本寺	東京府武藏國荏原郡池上村	本門寺
同	京都府上京區第五組妙顯寺前町	妙顯寺
同	同下京區第十七組柿本町	本圓寺
同	千葉縣下總國葛飾郡中山村	法華經寺
六門家	靜岡縣伊豆國君沢郡玉沢村	妙法華寺
同	千葉縣下總國東葛飾郡平賀村	本土寺
同	同上總國長柄郡藻原駅	藻原寺
同	同下總國東葛飾郡真間村	弘法寺
同	靜岡縣駿河國有渡郡沓谷村	蓮永寺
獨立本寺	千葉縣安房國長狹郡小湊村	誕生寺

與門派富士大石寺ニ六門家ノ一ナリ

同　京都府上京區第二組下清藏呂町　妙覺寺
同　同上京區第十四組壱番町　立本寺
同　山梨縣甲斐國巨摩郡增穗村　妙法寺

以上十四箇山　官命住職ノ寺跡　明治十二年六月内務省乙第三十四号ノ御達書ニ因テ定ル

獨立本寺

同　神奈川縣相模國鎌倉郡大町村　妙本寺
同　静岡縣駿河國富士郡岩本村　實相寺
同　同有渡郡村松村　海長寺
同　同　池田村　本覺寺
同　新潟縣越後國三島郡村田村　妙法寺
同　石川縣能登國羽咋郡滝谷村　妙成寺
同　京都府上京區第五組本法寺前町　本法寺
同　同上京區第十一組鶴山町　本滿寺
同　同第三十三組大菊町　頂妙寺

同　同　塚原也　同組北門前町　妙傳寺
同　新潟縣佐渡國雜太郡阿佛房村　妙宣寺
同　同加茂郡大野村　根本寺
同　同雜太郡一之谷村　妙照寺
長崎縣肥前國小城郡松尾村　光勝寺
山梨縣甲斐國巨摩郡身延村大野組　本遠寺
同　松尾山也　堺縣和泉國大鳥郡堺村木町　妙國寺
千葉縣上總國夷隅郡奥津村　妙覺寺
同　下總國香取郡中村　日本寺
同　上總國山邊郡小西村　正法寺
同　下總國千葉郡野呂村　妙興寺
同　安房國長狭郡小松原村　鏡忍寺
同　橡木縣下野國安蘇郡堀込村　妙顯寺
同　同　檀林ナリ　全前也

同　宮城縣陸前國宮城郡仙臺東九番町　孝勝寺
同　神奈川縣相摸國愛甲郡金田村　妙純寺
同　同鎌倉郡庁瀬村　龍口寺
同　静岡縣伊豆國加茂郡伊東村　佛現寺
同　同田方郡韮山村　本立寺
同　茨城縣常陸國久慈郡太田村　久昌寺
同　廣島縣安藝國安藝郡尾長村　國前寺
同　和歌山縣紀伊國名草郡和歌山真砂町　報恩寺

龍口也

星降也

妙本寺以下三十箇寺順次未定

本山ニ非スシテ官命住職之寺

京都府上京區第八組竪門前町　旧村雲御所　瑞龍寺

各本山ノ部ハ既ニ頭書ニ謁クト雖モ今亦此一書ヲ得タレハ再ヒ茲ニ附載ス看官諒重出ヲ尤ムル勿レ

一切經の濫觴

梁の傅大士名ハ翕字ハ玄風亦善慧大士と号し又東陽大士と号し當十六歳にして劉氏を娶り二人の子を産普成普建と云ふ或時大士の影水に写りて照すと覩て円光宝蓋を普建指し普成是觀て叫ぶ蔵るとのり佛祖統記に曰東陽郡烏傷縣の雙林寺と云寺に住居し

輪藏之圖

給へり又普大士の考は一切
經の首錄多くして見る
に苦難ありとて箱と八面に
中に柱を建くると廻る樣
に作り自由便利見易きを爲
に是を輪藏と名付者世に殘
れり是和漢共經藏とて
一切經を入納時り人參りて是
を廻せば一切經の功德に成と云
傳ふに至りて經庫を造
べ始め傳大士と二人の童
子の像を安置し世俗ふ
笑佛とふ　大尾

珠數之圖

明治十三年三月廿五日出版々權御願
同　年四月廿二日版權免許
同　年七月　刻成
定價五十錢

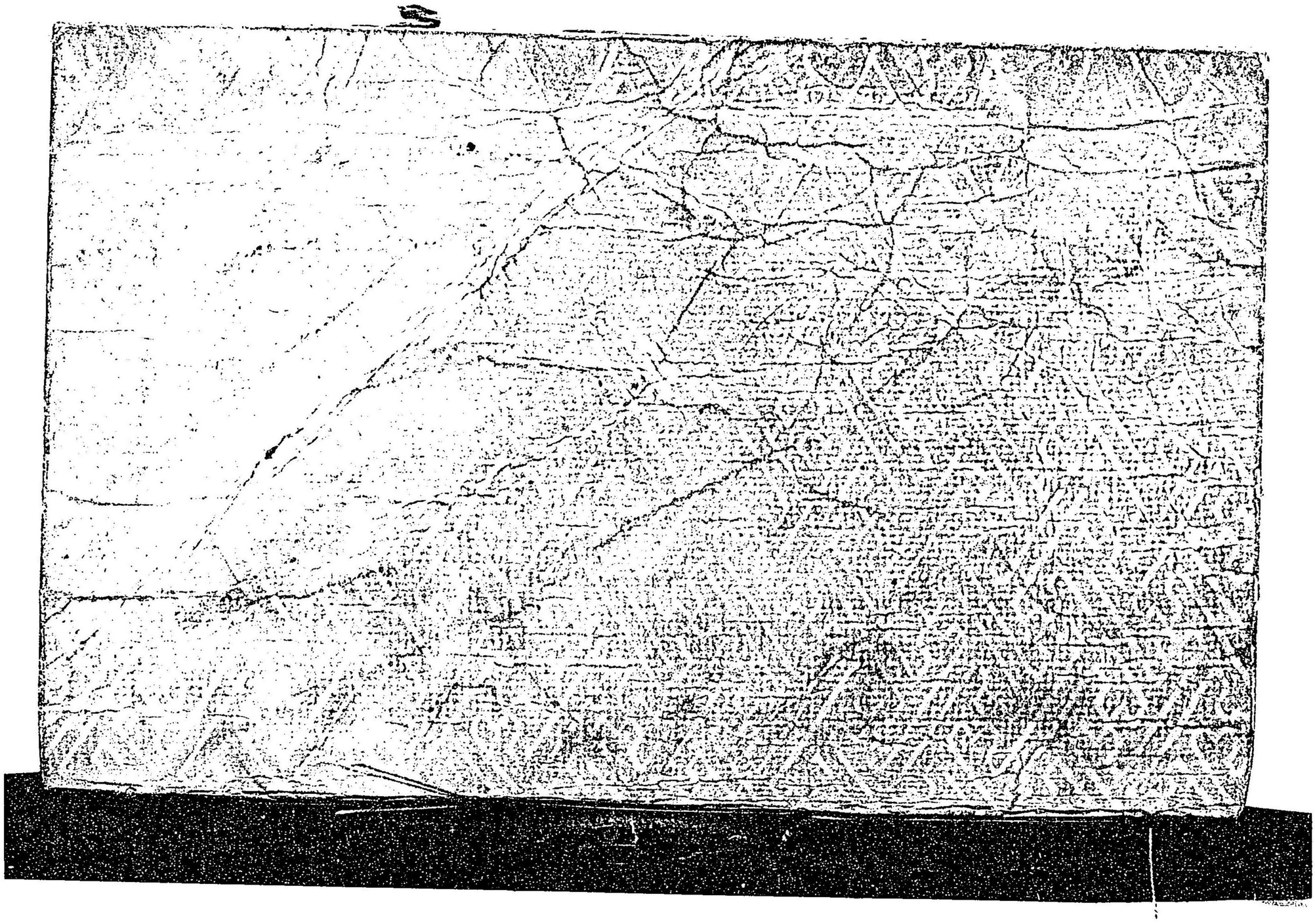
編輯者　京都府平民　宇喜多小十郎
下京區第十三組奈良物町
三百七十七番地内壱番

出版人　京都府平民　村上勘兵衛
上京區第廿九組前之町
四百五十二番地

日蓮御一代記圖會奥書

諸府縣下

京都	同	永田調兵衛
同	同	出雲寺文次郎
同	同	西村九郎右衛門
同	同	小川多左衛門
同	同	澤田善兵衛
同	同	藤井善造
東京	同	北畠善兵衛
同	同	若林喜兵衛
同	同	出雲寺倉次郎
同	同	淺澤教兵衛
同	同	松江書肆
同	同	森佐七
大阪	同	明庄五郎
同	同	柳友久兵衛
同	同	吉佐次郎
同	同	前川善兵衛

發兌書肆

同	尾張名古屋	岡島真七
甲斐府中	内藤東四郎	片野東四郎
丹波福知山	一井傳右衛門	内藤傳右衛門
丹後宮津	南波市助	一井市助
備前岡山	世良田庄兵衛	南波庄兵衛
同	森益太郎	世良田益太郎
同	渡邊積造	森源造
長門下ノ関	玉江源米	渡邊利米
同 萩	藤川東助	玉江東助
紀伊和歌山	野田喜一郎	藤川喜一郎
豐後府内	山川正三郎	野田正三郎
同	村上支店	山川支店
肥前長崎	桂林堂為次郎	村上為次郎
肥後熊本	長崎直太郎	桂林堂直太郎
同	服部太郎	長崎太郎